



## 取付説明書

本書は取付け作業前・ご使用前に必ずお読みください。  
取付けは必ず専門業者に依頼してください。  
お読みになった後は、大切に保管してください。

本製品は、下記に示す車両のみ取付け可能です。  
万が一お車と本製品の型式等が異なる場合には、速やかにお買い上げの販売店にご連絡ください。

商品名	GT2 スーパーチャージャーシステム
用途	自動車専用部品
コード No.	12001-AT013
取付説明書品番	E04215-T59103-00 Ver.3-3.04
メーカー車種	・トヨタ GR86 (3BA-ZN8) ・スバル BRZ (3BA-ZD8)
エンジン型式	FA24
対応年式	・トヨタ GR86 (3BA-ZN8) 2021/10～ ・スバル BRZ (3BA-ZD8) 2021/08～

※適合車両の年式は 2023 年 5 月現在のものです。

### 改訂の記録

改訂No.	日付	記載変更内容
3-3.01	2022/08	初版
3-3.02	2022/10	構成部品変更、取付説明書英語版作成
3-3.03	2022/12	記載事項変更
3-3.04	2023/05	構成部品変更

備 考	
<p>・本製品を使用時のエンジン及び補機類等の破損については一切保証をいたしません。</p> <p>○本製品(12001-AT013)には、HKS GT2 スーパーチャージャー本体保証(以下 本体保証)が適用されます。</p> <p>○本製品は下記指定部品との組合せで使用してください。</p> <p>・指定部品以外の部品を使用した場合には、本体保証をお受けになることはできません。</p> <p>指定部品以外の部品を使用した場合には、エンジンが破損する場合があります。</p>	
指 定 部 品	
スパークプラグ	HKS スーパーファイヤーレーシング M45HL、M50HL または純正
エンジンオイル	HKS エンジンオイルシリーズ (高温粘度 40 以上を推奨)
<p>○本製品を下記使用条件下にて使用した場合には、本体保証をお受けになることはできません。</p>	
保証対象外となる使用条件	
<p>・スーパーチャージャープーリーの変更による最大回転数の引き上げ等の変更。</p> <p>・ECUデータの変更による最大回転数の引上げ等の変更</p> <p>・クランクプーリー等のベルトレイアウトに関わるプーリーを純正部品以外に変更</p>	
<p>○ラジエーターサポート・オルターネーターブラケット等の加工が必要になります。(下記参照)</p> <p>○スリーブバンド TB1324 またはそれに準じた嫌気性封着剤(中強度タイプ)を使用します。</p> <p>○エアクリーナーインレット取付けのためにリベットを使用します。</p> <p>○別紙の取扱説明書に従い、ベルトやトラクションフルード等のメンテナンスを行ってください。</p>	

### ○加工が必要な箇所

部品名	加工内容	材質	備考
オルターネーターブラケット	一部切除	アルミ	
エアコンコンデンサーブラケット	一部切除	スチール	
フロントバンパーラインホースメント	穴加工、一部切除	スチール	
エアクリーナーケース	レゾネーター除去、穴加工	樹脂	
エアクリーナーインレット	一部切除、穴加工	樹脂	
ラジエーターサポート	一部切除	スチール	
オイルレベルゲージ	一部切除	スチール	
ウォッシュータンク	穴拡大加工	樹脂	
フロントバンパーエネルギーアブソーバー	一部切除		
ヘッドランプ	一部切除	樹脂	

### アドバイス

- ・スーパーチャージャーの内部構成部品は精密部品です。トラクションフルードに異物が混入するとスーパーチャージャーが破損します。トラクションフルード配管の作業中ホースやタンクに異物が混入しないように作業を行ってください。

## 目次

はじめに／本書・製品について／安全上の注意	2
パーツリスト	3
1. ノーマルパーツの取外し	6
2. ノーマルパーツの加工	9
3. インタークーラーとトラクションフルードクーラーの取付け	15
4. GT2 スーパーチャージャーの取付け	22
5. トラクションフルード配管の取付け	28
6. サクションパイプの取付け	34
7. インタークーラーパイプの取付け	37
8. ブローオフバルブの取付け	40
9. ノーマルパーツの取付け	42
10. 取付け後の確認とトラクションフルード量の調整	44
11. 1ヶ月点検の実施	46
12. 維持・管理	47
13. 故障と判断する前に	48
14. ベルトが切れてしまった場合	48

## はじめに

この度は、HKS GT2 スーパーチャージャーシステムをお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
本製品を安全にご使用いただき、機能を十分に発揮させるために本書をお読みください。  
取付け終了後は本書に記載されている内容を守り、安全に使用してください。  
本書は取付けを行う前に必ず読み、よく理解した上で作業を行ってください。

## 本書・製品について

- 本書は本製品を安全に取付けていただき、お客様や第三者への危険や損害を未然に防止するため、守っていただきたい注意事項を示しています。
- 本製品は自動車専用部品です。用途外の使用は行わないでください。
- お客様又は第三者が、本製品及び付属品を加工、誤使用したことにより受けた損害について当社は一切責任を負いかねます。
- 本製品は日本国内モデルノーマル車両への取付けを基準に開発されています。
- 本書は、予告なく改版することがありますので本製品と本書の整合をご確認ください。
- 本製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。

## 安全上の注意

本書では、下記のような記号を使用し、お客様への危険レベルを示しています。



### 警告

作業員又は使用者が、死亡又は重傷を負うおそれがある場合



### 注意

作業員又は使用者が、傷害を負う危険が想定される場合(人損)  
拡大物損の発生が想定される場合  
(拡大物損とは、当該製造物が原因で誘発された物的損害(例えば車両の破損及び焼損))

# パーツリスト

No.1

連番	品名	数量	備考
1	GT2 スーパーチャージャー	1	GT2-7040L
2	スーパーチャージャーブラケット No.1	1	
3	スーパーチャージャーブラケット No.2	1	
4	スーパーチャージャーブラケット No.3	1	
5	V リブドベルト	1	6PK2070
6	インタークーラー	1	
7	サクシヨンパイプ	1	
8	リストラクター	1	φ39mm
9	サクシヨンパイプガasket	1	
10	インタークーラーインレットパイプ	1	
11	インタークーラーアウトレットパイプ No.1	1	
12	インタークーラーアウトレットパイプ No.2	1	
13	ブローオフバルブ	1	キャップホルト M6 L=45 2 本付属
14	ブローオフバルブガasket	1	
15	トラクシヨンフルード	1	
16	トラクシヨンフルードタンク	1	
17	トラクシヨンフルードフィルター	1	
18	トラクシヨンフルードクーラー	1	
19	ブローバイパイプブラケット	1	
20	インタークーラーブラケット No.1	1	
21	インタークーラーブラケット No.2	1	
22	インタークーラーブラケット No.3	1	
23	インタークーラーインレットパイプブラケット	1	
24	トラクシヨンフルードフィルターブラケット	1	
25	トラクシヨンフルードタンクブラケット	1	
26	トラクシヨンフルードクーラーブラケット No.1	1	
27	トラクシヨンフルードクーラーブラケット No.2	1	
28	エアクリーナーブラケット No.1	1	
29	エアクリーナーブラケット No.2	1	
30	インレットダクトブラケット	1	
31	エアクリーナーリッド	1	
32	シリコンホース φ60 L70	3	
33	シリコンホース φ55 L43	1	
34	シリコンホース φ50-φ60	1	
35	シリコンホース φ61-φ79	1	
36	シリコンホース φ74-φ79	1	
37	シリコンホース φ22-φ25	1	
38	トラクシヨンフルードホース φ10	1	L1000

# パーツリスト

No.2

連番	品名	数量	備考
39	トラクションフルードホース φ8	1	L2200
40	ホース φ16	1	L60
41	ホース φ4	1	L1000
42	コルゲートチューブ φ15	1	L2400
43	コルゲートチューブ φ10	3	L70
44	オイルレベルゲージランプ	1	
45	ブローバイパイプ	1	
46	スリーウェイ φ16-φ4-φ16	1	
47	スペーサー(φ20×φ8×L13)	1	
48	スペーサー(φ25×φ10×L15)	7	
49	スペーサー(φ25×φ10×L11.8)	1	
50	スペーサー(φ20×φ10×L25.4)	1	
51	スペーサー(φ12.6×φ8×L18.4)	3	
52	スペーサー(φ15×φ6×L35.5)	1	
53	スペーサー(φ22×φ8×L51.5)	1	
54	スペーサー(φ16×φ8×L82.4)	1	
55	スペーサー(φ20×φ10×L6)	1	
56	スペーサー(φ18×φ6×L5)	1	
57	スペーサー(φ20×φ6×L10)	1	
58	スペーサー(φ16×φ8×L35.5)	1	
59	スペーサー(φ20×φ10×L35.5)	1	
60	インシュレーターラバー	1	
61	ホースバンド #52	1	
62	ホースバンド #48	2	
63	ホースバンド #40	9	
64	ホースバンド #36	3	
65	ホースクランプ φ29.5	1	刻印なし
66	ホースクランプ φ26.0	1	刻印 260
67	ホースクランプ φ23.0	3	刻印 230
68	ホースクランプ φ15.5	5	刻印 155
69	ホースクランプ φ13.0	4	刻印 130
70	ホースクランプ φ6.8	2	刻印 68
71	キャップボルト M10 L70	1	
72	キャップボルト M10 L60	1	
73	キャップボルト M8 L130	1	
74	キャップボルト M8 L115	1	
75	キャップボルト M8 L90	1	
76	キャップボルト M8 L60	1	

# パーツリスト

No.3

連番	品名	数量	備考
77	キャップボルト M8 L55	1	
78	キャップボルト M8 L40	1	
79	キャップボルト M8 L35	1	
80	キャップボルト M8 L20	3	
81	キャップボルト M6 L55	1	
82	キャップボルト M6 L18	4	
83	低頭キャップボルト M8 L35	2	
84	皿ボルト M8 L35	1	
85	皿ボルト M8 L30	2	
86	ボタンボルト M10 L20	1	
87	六角ボルト M8 L35	6	
88	六角ボルト M8 L20	4	
89	六角ボルト M6 L25	1	
90	六角ボルト M6 L15	1	
91	フランジボルト M8 L20	2	
92	フランジボルト M6 L25	2	
93	フランジボルト M6 L20	2	
94	フランジボルト M6 L18	2	
95	フランジボルト M6 L15	1	
96	スタッドボルト M6 8-7-8	1	
97	プレーンワッシャー M8	19	
98	プレーンワッシャー M6 大径	8	
99	フランジナット M10	1	
100	フランジナット M8	1	
101	フランジナット M6	5	
102	六角ナット M8	3	
103	六角ナット M6	2	
104	リベット	2	
105	タイラップ(中)	16	
106	タイラップ(小)	9	
107	取付説明書	1	本書
108	取扱説明書/保証書	1	

# 1. ノーマルパーツの取外し

整備要領書に従って作業を行う。

- (1) バッテリーのマイナス端子接続を取外す。
- (2) 左右にある①サイドターンシグナルランプコネクタを取外す。
- (3) ②フロントバンパーを取外す(再使用部品)。



図 1-1

- (4) ②フロントバンパーの③右エアダクトを取外す。



図 1-2

- (5) ④フロントバンパーエネルギーアブソーバーを取外す(再使用部品)。
- (6) ⑤エアクリーナーインレットを取外す(再使用部品)。
- (7) ⑥ラジエーターカバープレートを取外す。
- (8) ⑦左右のフロントバンパーコーナーブラケットを取外す(再使用部品)。
- (9) ⑧右ヘッドランプを取外す(再使用部品)。
- (10) ⑨ウォッシャータンクを取外す(再使用部品)。

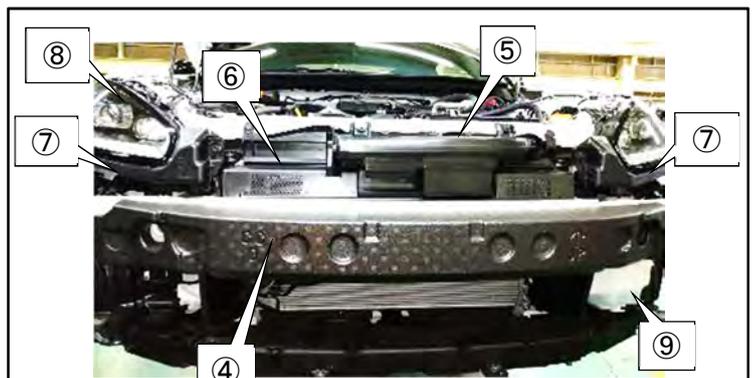
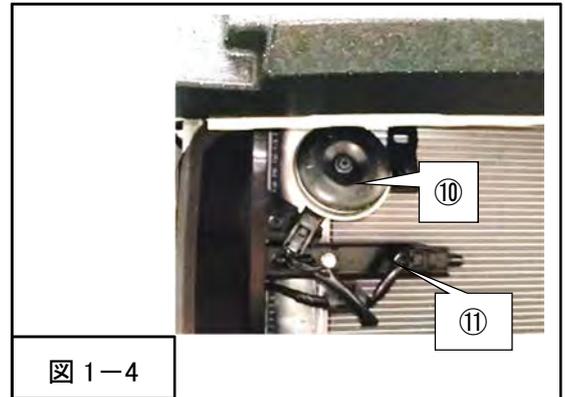


図 1-3

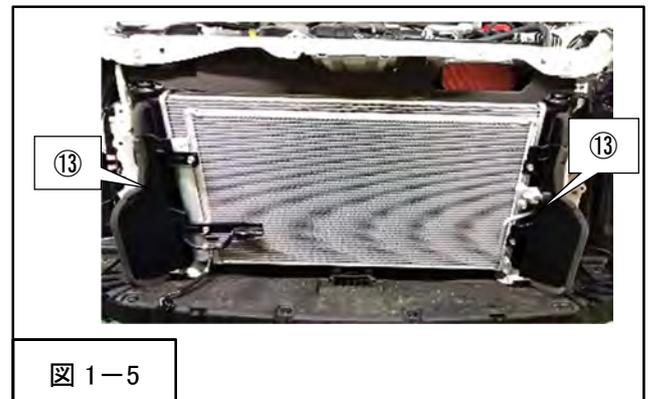
(11) フロントバンパーラインホースメントから⑩ホーンを取外す(再使用部品)。

(12) エアコンコンデンサーブラケットから⑪外気温度センサーを取外す(再使用部品)。



(13) ⑫フロントバンパーラインホースメントを取外す(再使用部品)

(14) 左右にある⑬ラジエーターガイドを取外す。



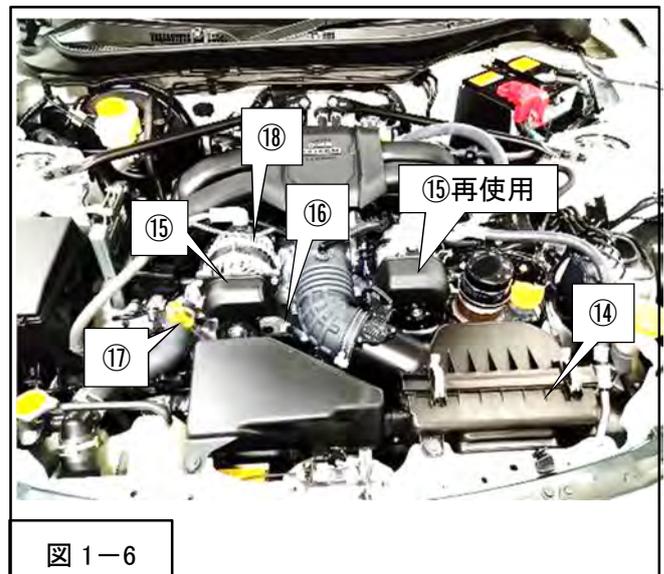
(15) ⑭エアクリーナーケースを取外す(再使用部品)

(16) ⑮ベルトカバーを取外す(エアコンコンプレッサー側は再使用)

(17) オートテンショナーのプーリーセットボルトに工具を掛け、オートテンショナーを右に回転させて張力をゆるめ、⑯ベルトを取外す。

(18) ⑰オイルレベルゲージを取外す(再使用部品)。

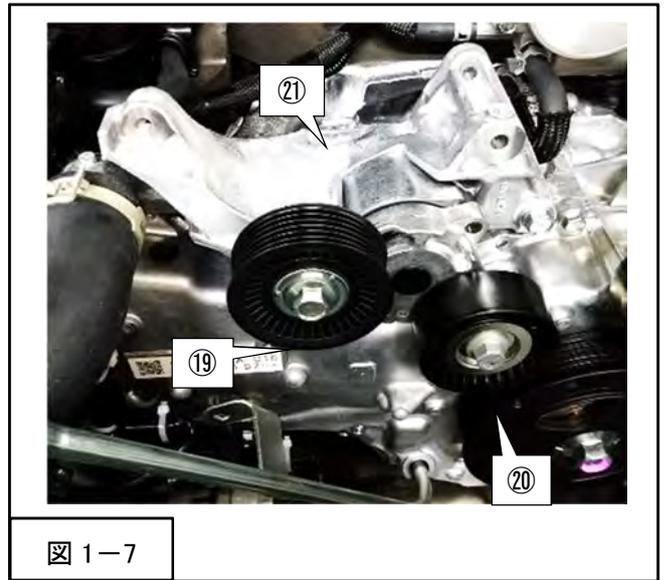
(19) ⑱オルターネーターを取外す(再使用部品)。



(20) ⑱アイドルプーリーを取外す。

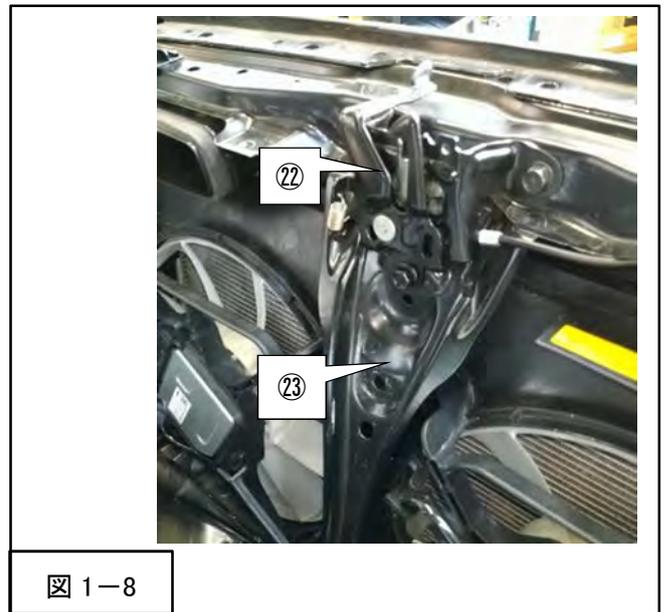
(21) ㉔オートテンショナーを取外す。(再使用部品)

(22) ㉕オルターネーターブラケットを取外す  
(再使用部品)。



(23) ㉖フードロックをラジエーターサポートから取外す(再使用部品)。

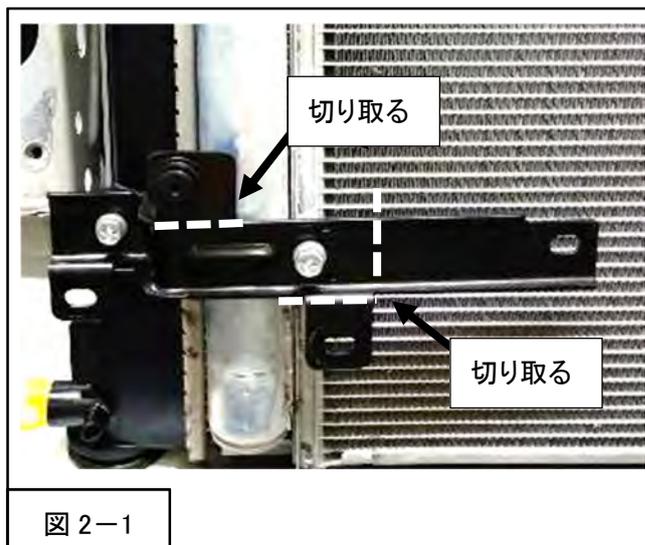
(24) ㉗ラジエーターサポートを取外す(再使用部品)。



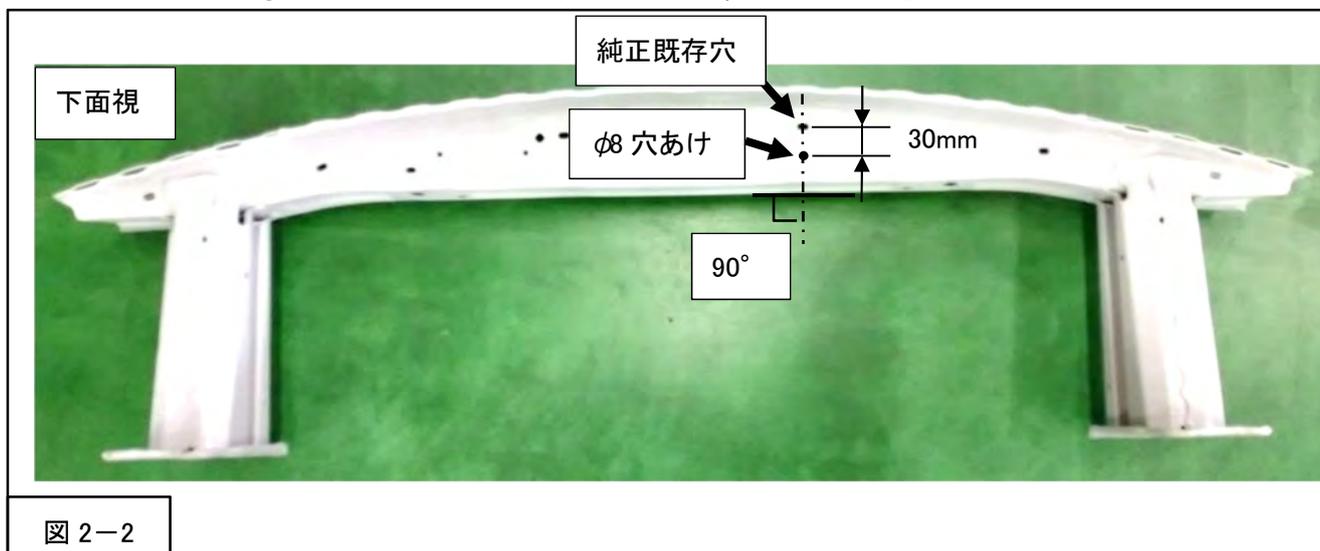
## 2. ノーマルパーツの加工

(1) 右側のエアコンコンデンサーブラケットを取外し、一部を切り取る。

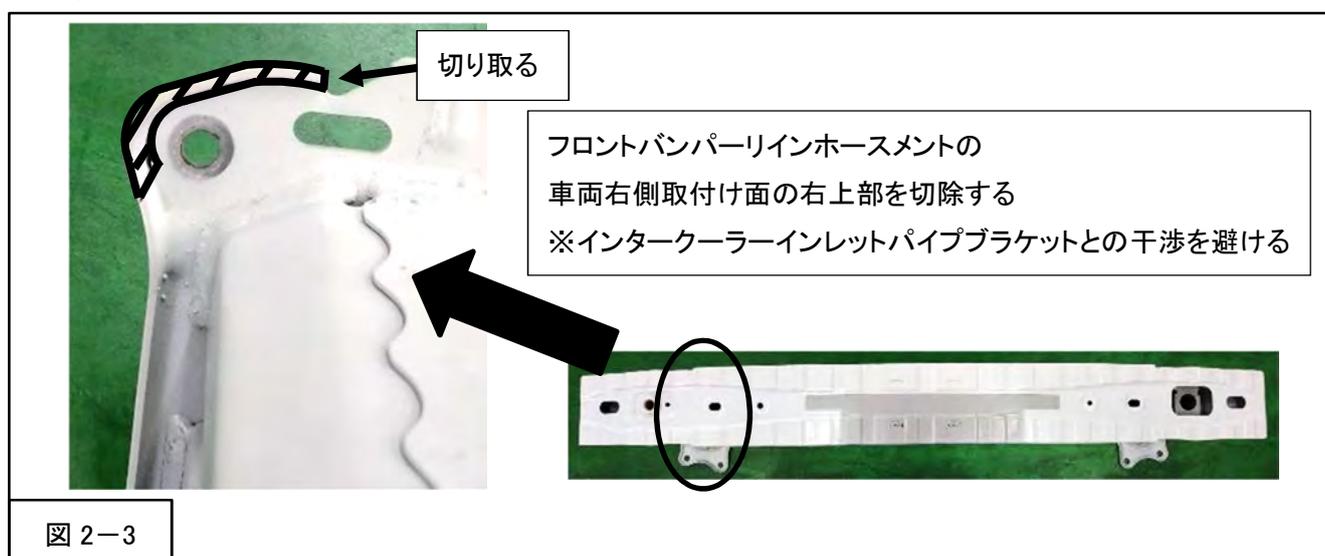
(2) 2.(1)で加工したエアコンコンデンサーブラケットを元の位置に取付ける。



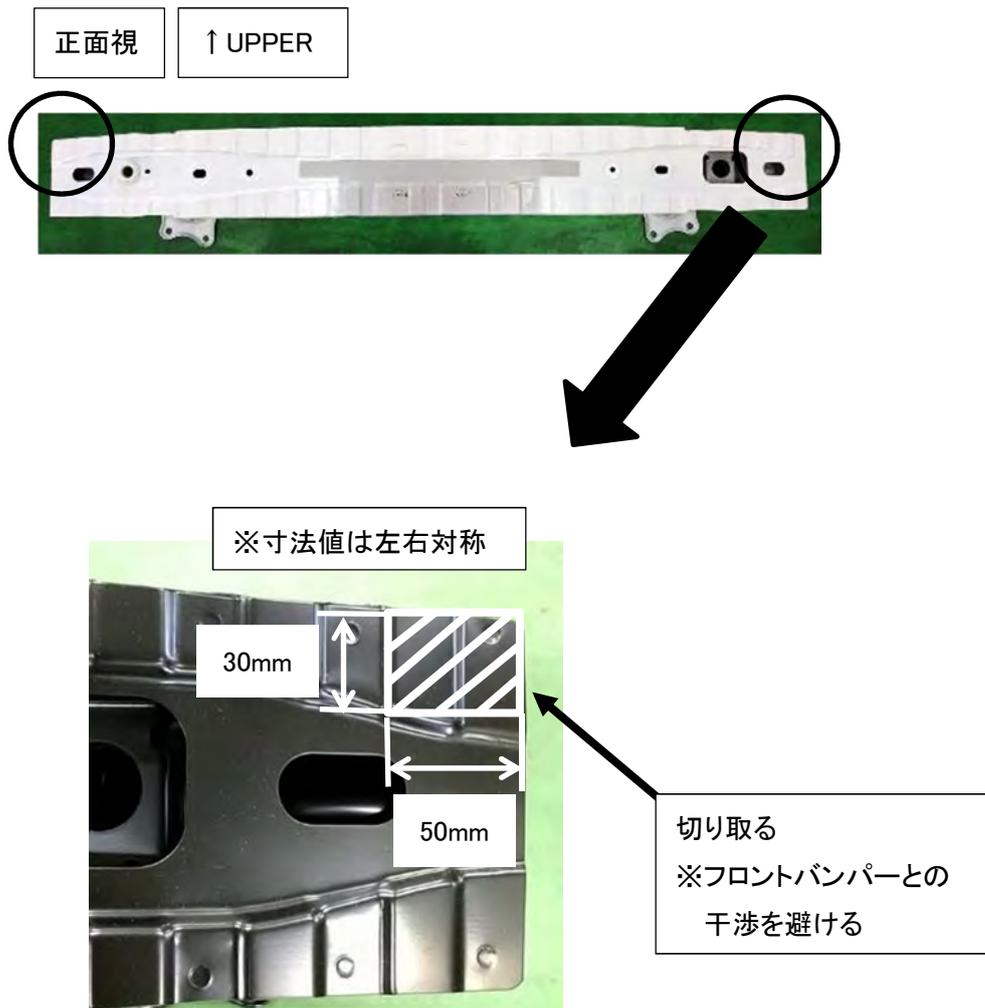
(3) 1.(13)で取外した⑫フロントバンパーラインホースメントに $\phi 8$ の穴を開ける。



(4) ⑫フロントバンパーラインホースメントの一部を切り取る。



※BRZ はさらにフロントバンパーラインホースメントの左右両端の一部を切り取る。



アドバイス

◇ 裏側は切欠き部に合わせて切り取ると角部になりにくい。

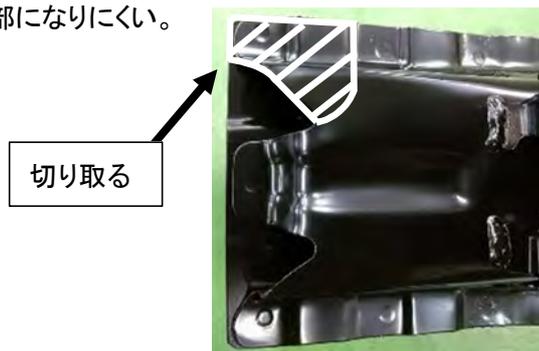
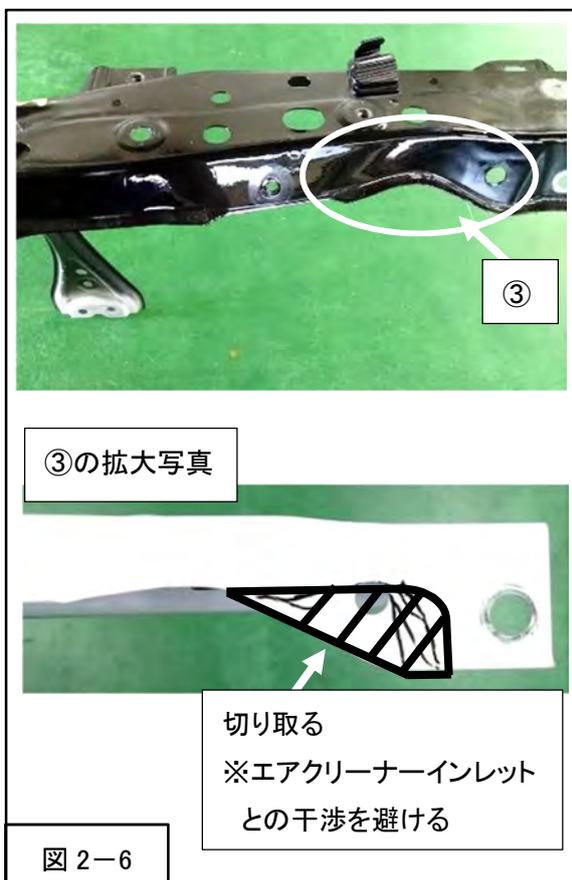
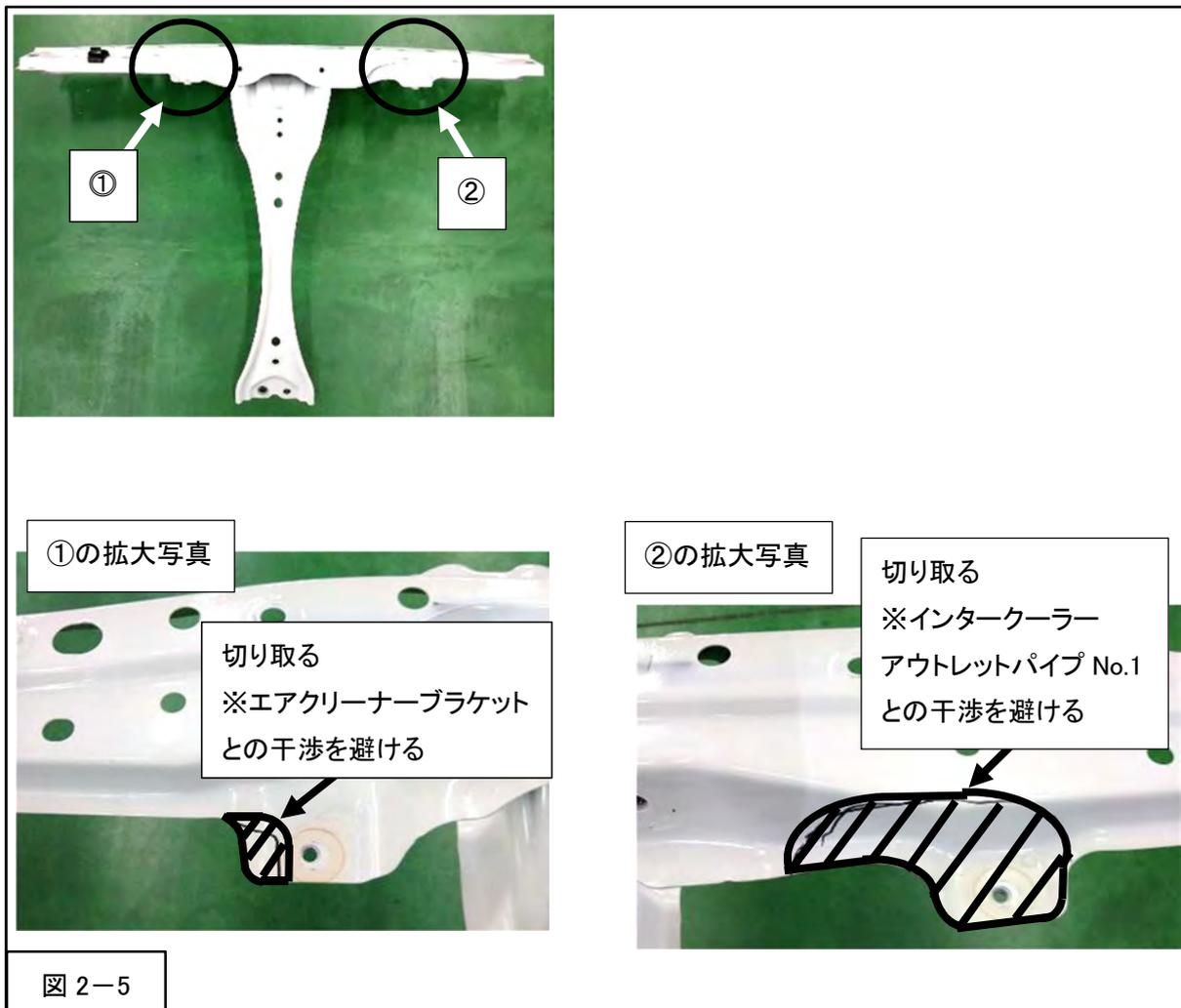


図 2-4

(5) 1. (24)で取外した③ラジエーターサポートの一部を切り取る(3か所)。



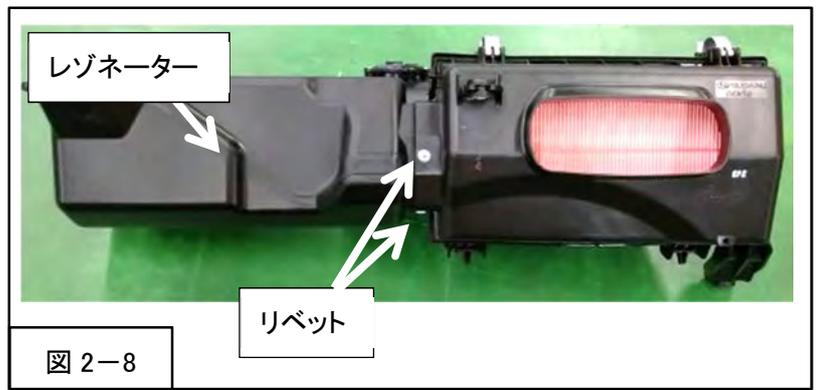
- (6) 1. (22)で取外した⑳オルターネーターブラケットを点線の位置で切り取る。



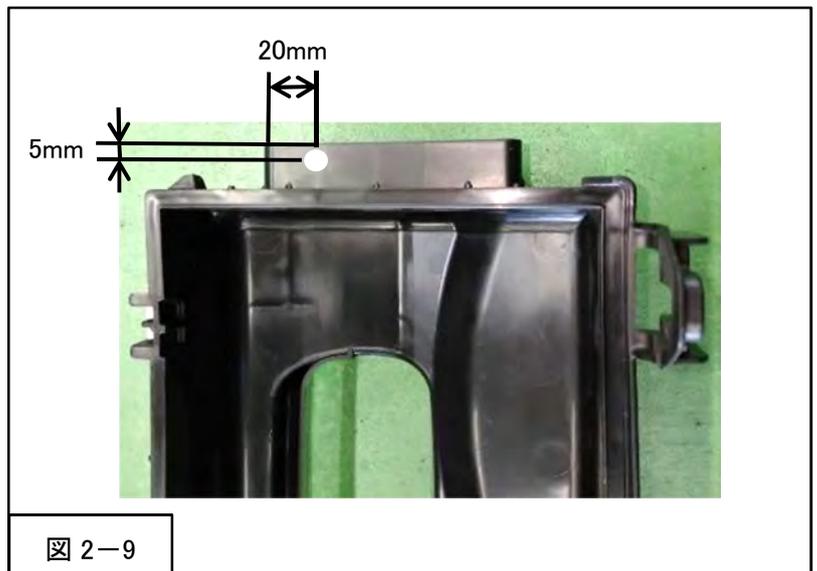
- (7) 1. (15)で取外した⑭エアクリーナーケースからレゾネーターを取外す。

**アドバイス**

- ◇ リベットをドリル等で取外す。



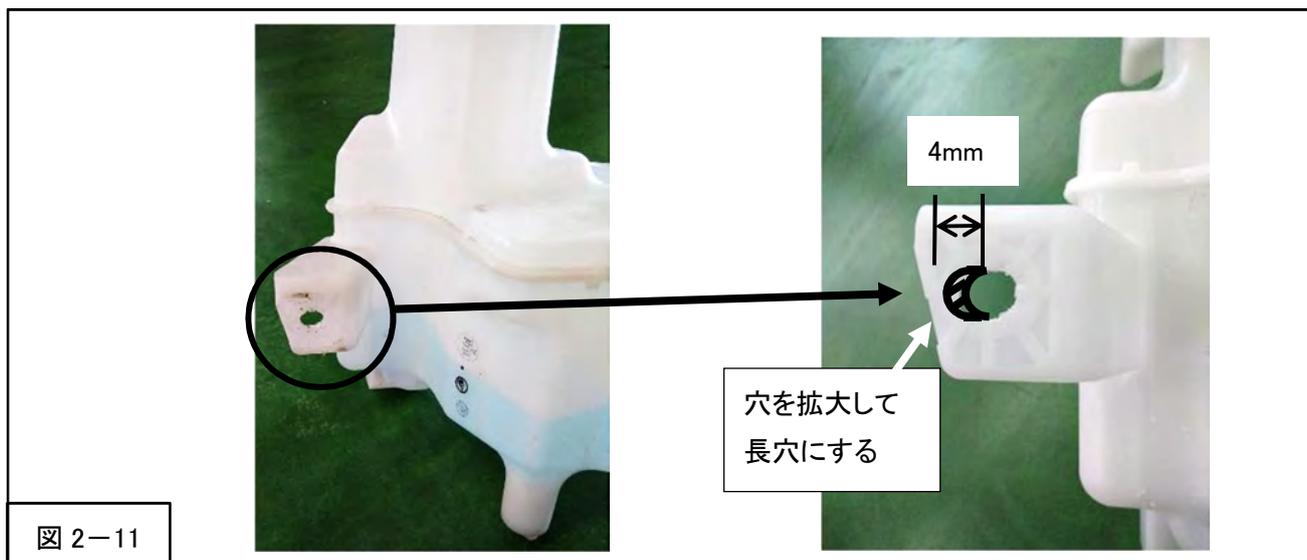
- (8) ⑭エアクリーナーケースにφ4の穴を開ける。



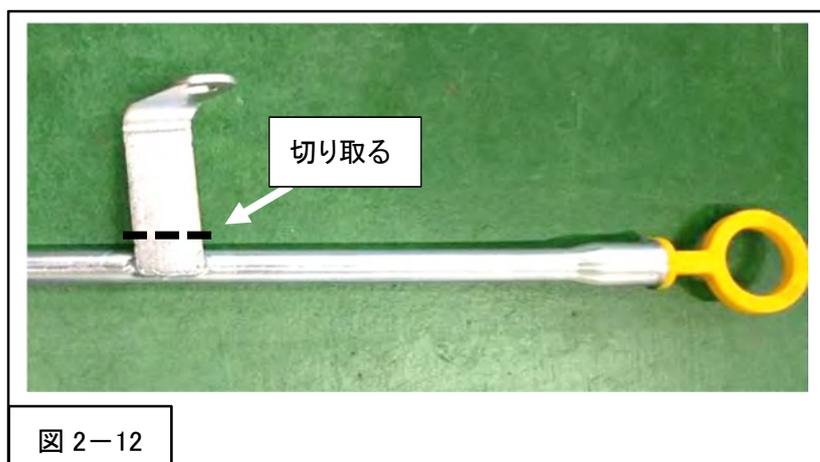
(9) 1.(6)で取外した⑤エアクリーナーインレットを点線の位置で切り取る。



(10) 1.(10)で取外した⑨ウォッシャータンクの取付け穴を拡大する。



(11) ⑪オイルレベルゲージのブラケットを点線の位置で切り取る。



(12) 1. (9) で取外した⑧右ヘッドランプの配線コネクタ固定点(2か所)を切り取る。

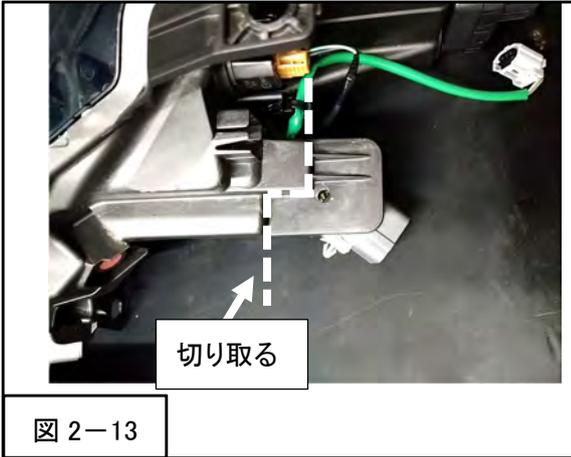


図 2-13



図 2-14

(13) 1. (5) で取外した④フロントバンパーエネルギーアブソーバーを点線の位置で切り取る。

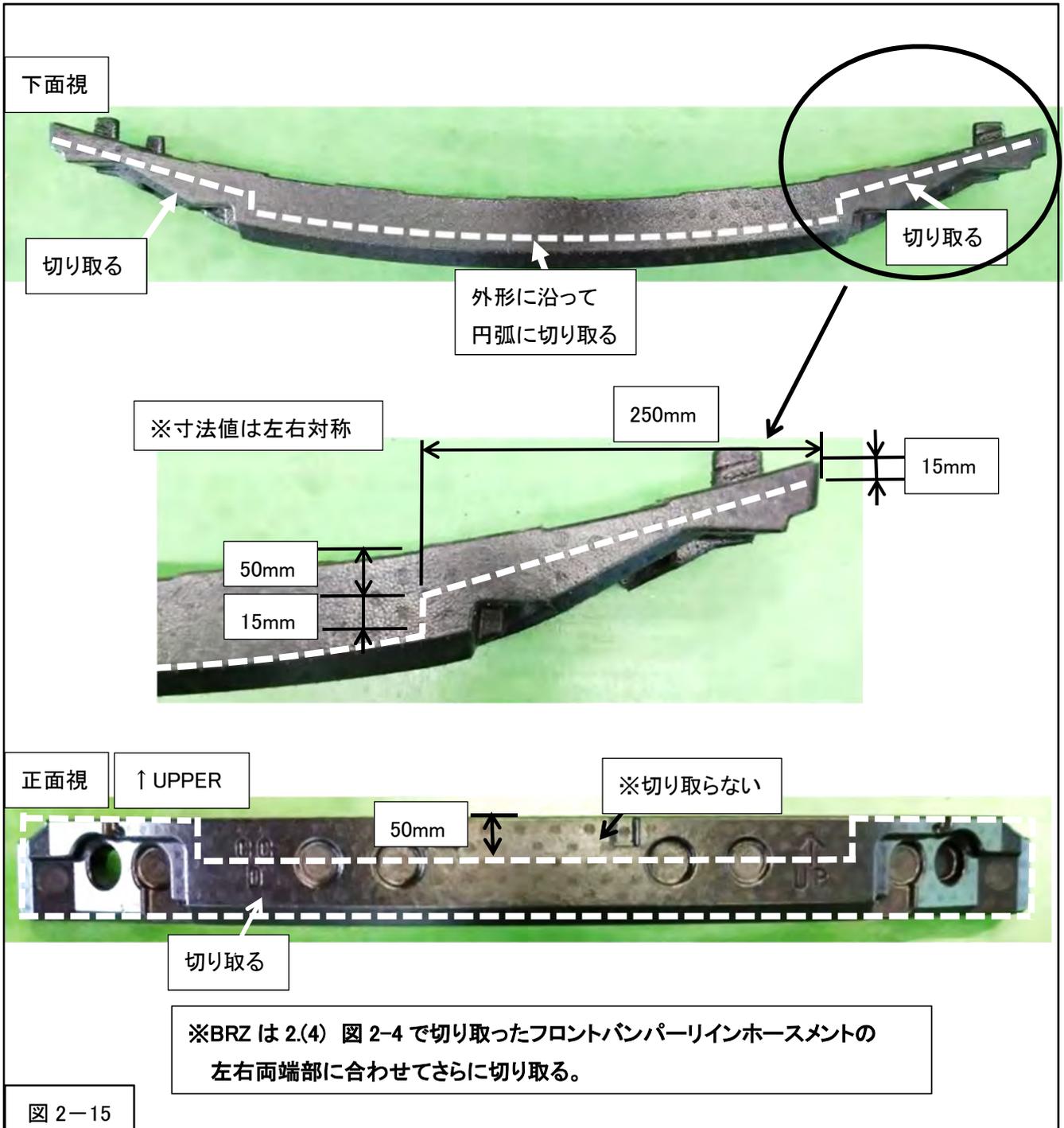
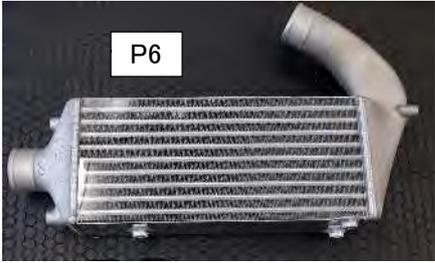
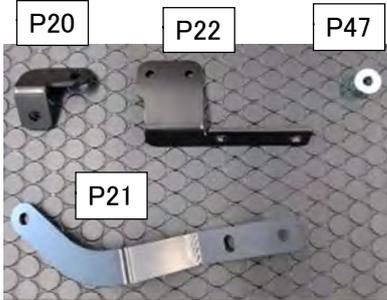
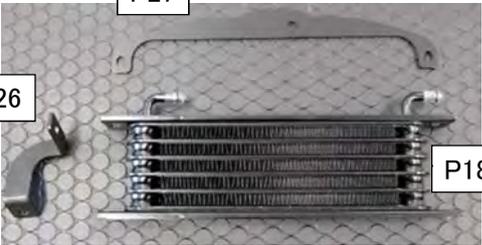
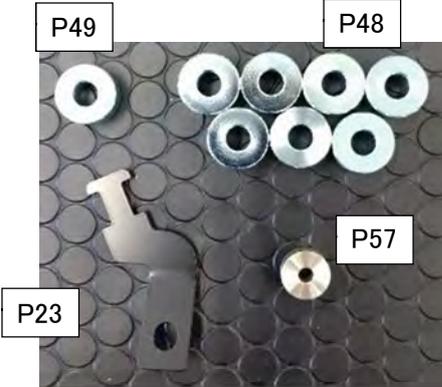


図 2-15

### 3. インタークーラーとトラクションフルードクーラーの取付け

パーツリスト				
右表の No.は 3~5 ページのパーツリストの連番に対応します。	No.	品名	数量	
		P6	インタークーラー	1
P18		トラクションフルードクーラー	1	
P20		インタークーラーブラケット No.1	1	
P21		インタークーラーブラケット No.2	1	
P22		インタークーラーブラケット No.3	1	
P23		インタークーラーインレットパイプブラケット	1	
P26		トラクションフルードクーラーブラケット No.1	1	
P27		トラクションフルードクーラーブラケット No.2	1	
		P39	トラクションフルードホース $\phi 8$	1
		P42	コルゲートチューブ $\phi 15$	1
	P43	コルゲートチューブ $\phi 10$	2	
	P47	スペーサー ( $\phi 20 \times \phi 8 \times L13$ )	1	
	P48	スペーサー ( $\phi 25 \times \phi 10 \times L15$ )	7	
	P49	スペーサー ( $\phi 25 \times \phi 10 \times L11.8$ )	1	
	P57	スペーサー ( $\phi 20 \times \phi 6 \times L10$ )	1	
	P69	ホースクランプ $\phi 13.0$	2	
	P78	キャップボルト M8 L40	1	
	P80	キャップボルト M8 L20	3	
	P82	キャップボルト M6 L18	4	
	P83	低頭キャップボルト M8 L35	2	
	P87	六角ボルト M8 L35	6	
	P88	六角ボルト M8 L20	4	
	P89	六角ボルト M6 L25	1	
	P90	六角ボルト M6 L15	1	
	P97	プレーンワッシャー-M8	19	
	P98	プレーンワッシャー-M6 大径	8	
	P100	フランジナット M8	1	
	P101	フランジナット M6	3	
	P102	六角ナット M8	3	
	P103	六角ナット M6	2	
	P105	タイラップ(中)	4	
	P106	タイラップ(小)	4	

(1) 2.(3)(4)で加工した⑫フロントバンパーライン  
ホースメントにインタークーラーとトラクシ  
ョンフルードクーラーを取付ける。

- ・P6 インタークーラー ×1
- ・P18 トラクションフルードクーラー ×1
- ・P20 インタークーラーブラケット No.1 ×1
- ・P21 インタークーラーブラケット No.2 ×1
- ・P22 インタークーラーブラケット No.3 ×1
- ・P26 トラクションフルードクーラー  
ブラケット No.1 ×1
- ・P27 トラクションフルードクーラー  
ブラケット No.2 ×1
- ・P47 スペーサー(φ20×φ8×L13) ×1
- ・P78 キャップボルト M8 L40 ×1
- ・P80 キャップボルト M8 L20 ×3
- ・P82 キャップボルト M6 L18 ×4
- ・P88 六角ボルト M8 L20 ×4
- ・P97 プレーンワッシャー M8 ×11
- ・P98 プレーンワッシャー M6 大径×5
- ・P100 フランジナット M8 ×1
- ・P101 フランジナット M6 ×3
- ・P102 六角ナット M8 ×3
- ・P103 六角ナット M6 ×1

#### アドバイス

◇ フロントバンパーラインホースメントの  
裏側からボルトを通す時にマグネット  
ハンド等を使用すると作業しやすい。

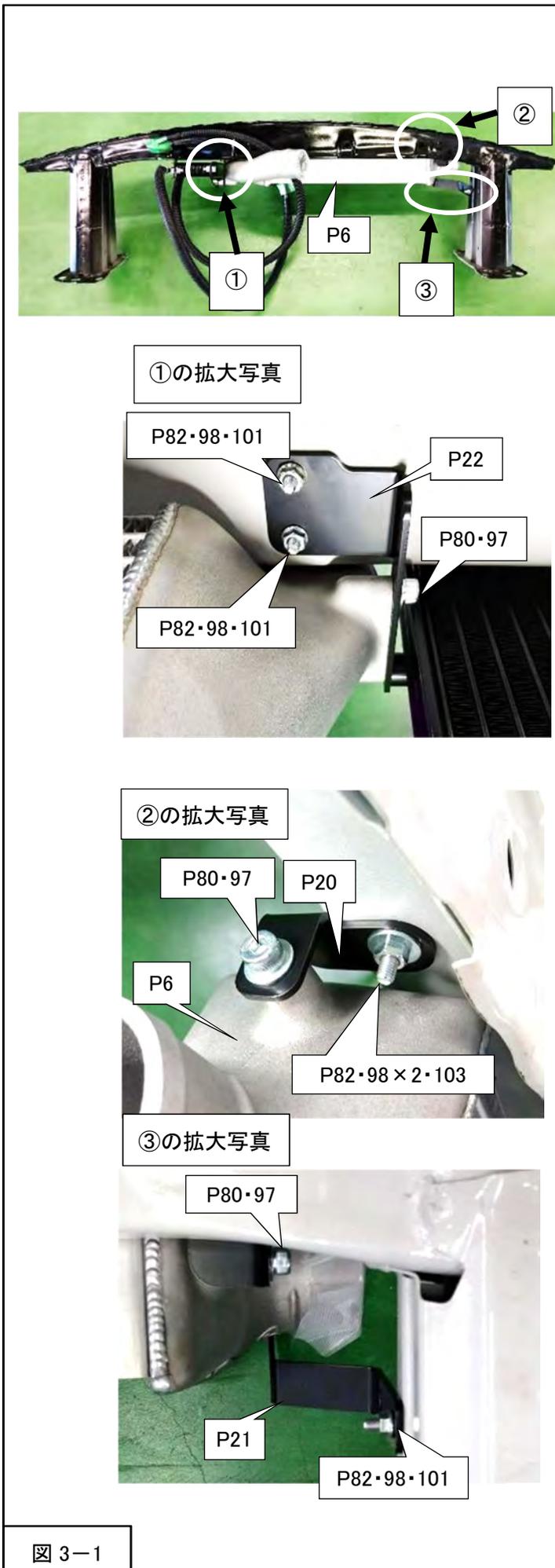


図 3-1

### アドバイス

- トーションフルードクーラーの凸の無い内面側にトーションフルードブラケットを取付ける。

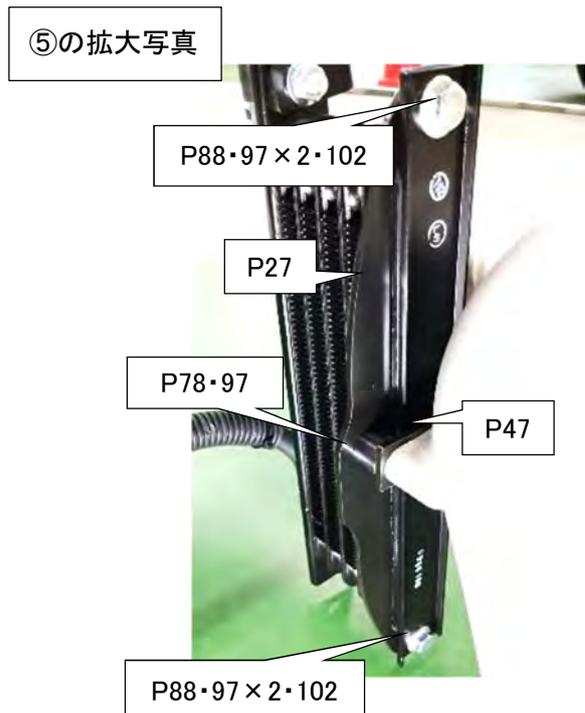
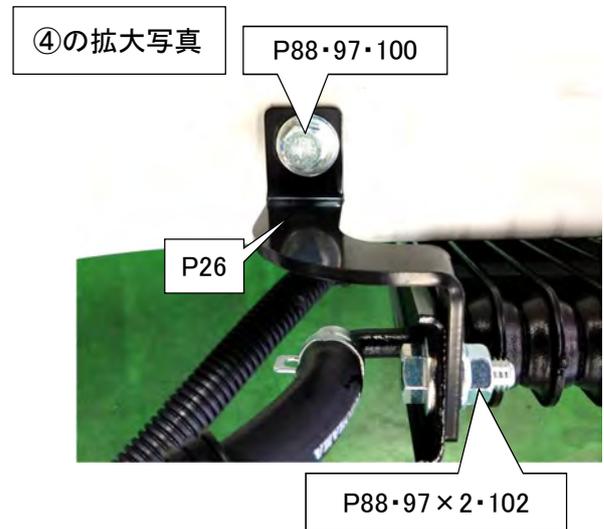
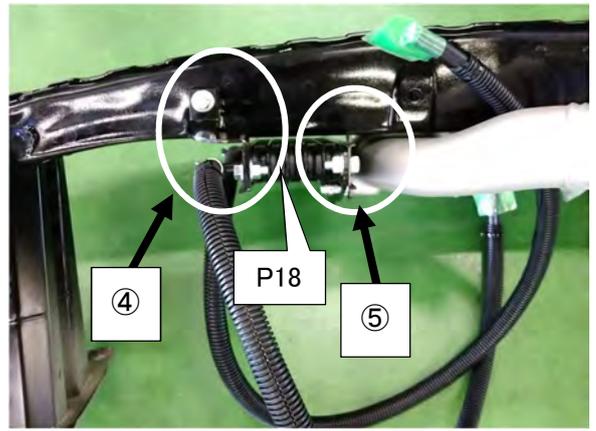


図 3-2

(2) トラクションフルードホース  $\phi 8$  を①1,050mmと②880mmに切断する。

・P39 トラクションフルードホース  $\phi 8$  × 1

(3) コルゲートチューブ  $\phi 15$  を①150mm・②410mm・③980mm・④810mmに切断する。

・P42 コルゲートチューブ  $\phi 15$  × 1

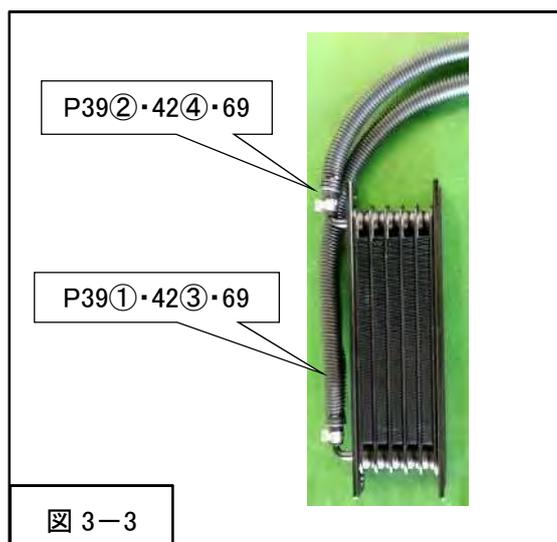
(4) 3.(2)で切り取ったトラクションフルードホース  $\phi 8$  ①をトラクションフルードクーラー下方のニップル部に取付け、トラクションフルード  $\phi 8$  ②をトラクションフルードクーラー上方のニップル部に取付ける。

・P69 ホースクランプ  $\phi 13.0$  × 2

(5) 3.(3)で切り取ったコルゲートチューブ  $\phi 15$  ③と④をトラクションフルードホース  $\phi 8$  ①と②に取付ける。

コルゲートチューブの両端をタイラップ(中)で固定する。

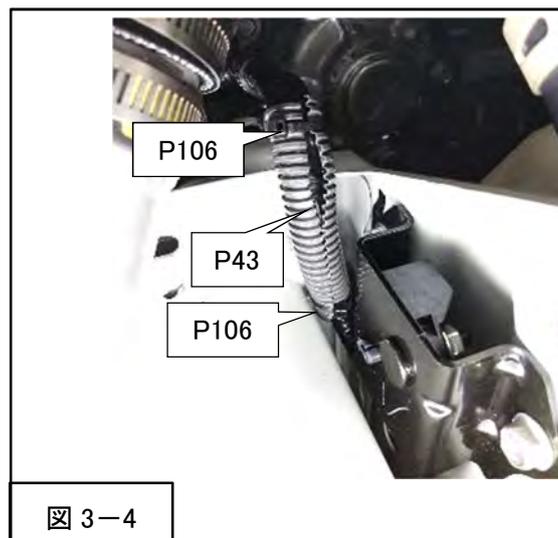
・P105 タイラップ(中) × 4



(6) 左右のエアバッグセンサー配線にコルゲートチューブ  $\phi 10$  を取付ける。

・P43 コルゲートチューブ  $\phi 10$  × 2

・P106 タイラップ(小) × 4



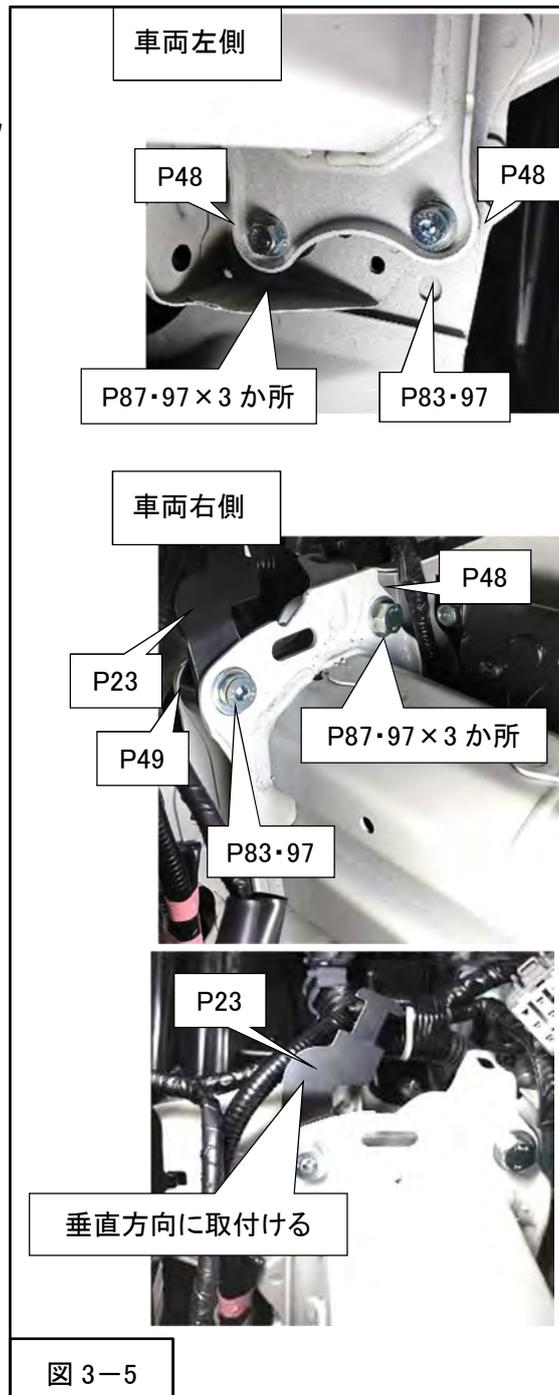
(7) インタークーラーとトラクションフルードクーラーを取付けた  
 ⑫フロントバンパーラインホースメントを車両に取付ける。  
 スペーサー(φ25×φ10×L11.8)はインタークーラーインレット  
 パイプブラケットと車両の間に入れる。

低頭キャップボルト M8 L35 はフロントバンパーラインホースメント車両左側左下と車両右側右上の 2 か所に使用する。

- ・P23 インタークーラーインレットパイプブラケット ×1
- ・P48 スペーサー(φ25×φ10×L15) ×7
- ・P49 スペーサー(φ25×φ10×L11.8) ×1
- ・P83 低頭キャップボルト M8 L35 ×2
- ・P87 六角ボルト M8 L35 ×6
- ・P97 プレーンワッシャー M8 ×8

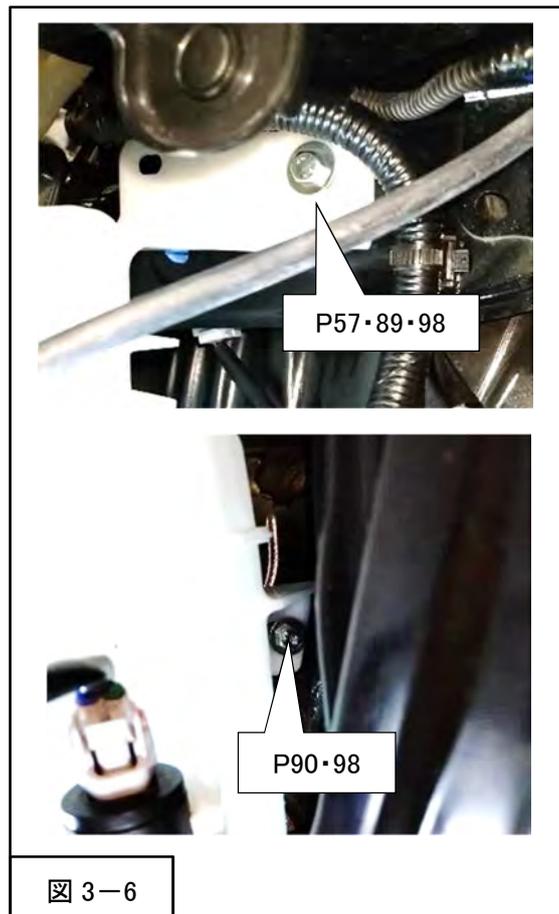
締付けトルク N・m (kgf・m)

T=32 (3.26) (低頭キャップボルト、六角ボルト共通)



(8) 六角ボルトのネジ部を脱脂してスリーボンド TB1324 を薄く塗布し、2.(10)で加工した⑭ウォッシャータンクを車両に取付ける。

- ・P57 スペーサー (φ20×φ6×L10) ×1
- ・P89 六角ボルト M6 L25 ×1
- ・P90 六角ボルト M6 L15 ×1
- ・P98 プレーンワッシャー M6 大径 ×2



(9) 1.(11)で取外した⑩ホーンを車両に取付ける。取付け場所はフロントバンパーラインホースメント取付け面車両右側下方の純正未使用穴を使用する。

- ・P98 プレーンワッシャー M6 大径 ×1
- ・P103 六角ナット M6 ×1



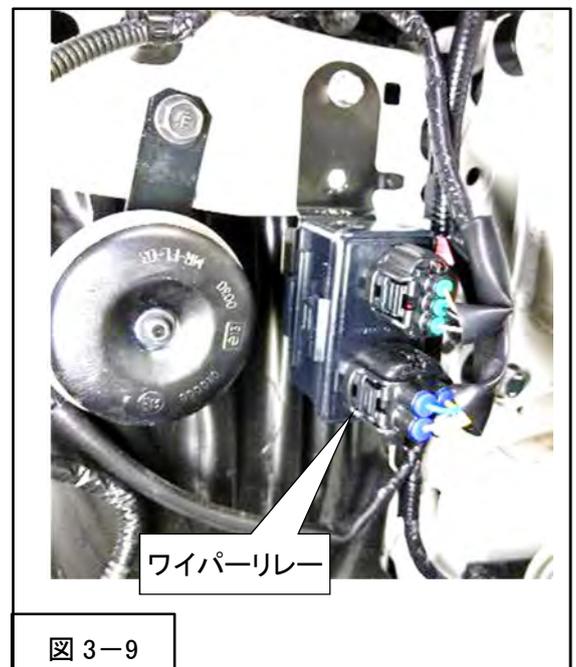
(10) 1.(12)で取外した⑪外気温度センサーをインタークーラーブラケット No.2 に取付ける。



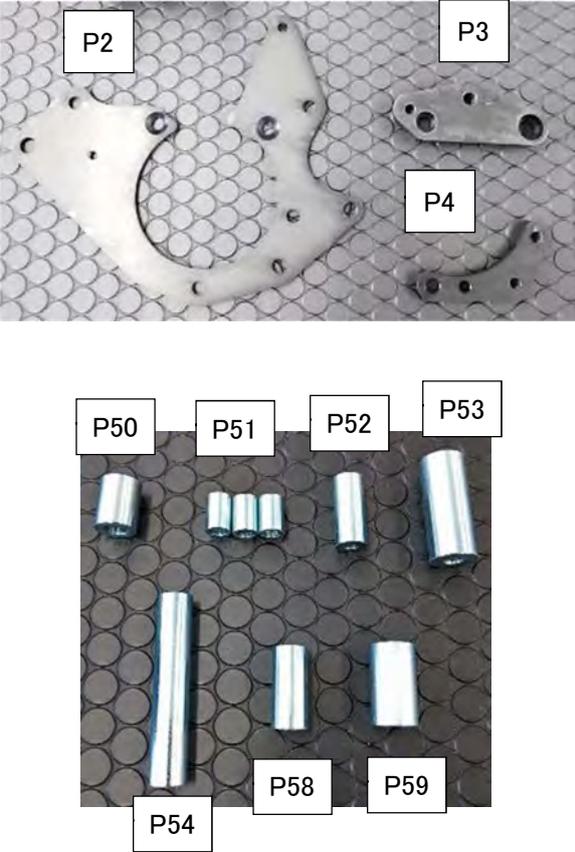
(11) ワイパーリレーの固定ボルトを緩め、ワイパーリレーが下方に移動するようにブラケット上方の穴を使用して再度固定する。

**アドバイス**

◇ ブラケットが取付くように爪を曲げる。



## 4. GT2スーパーチャージャーの取付け

パーツリスト			
No.	品名	数量	
P1	GT2 スーパーチャージャー	1	
P2	スーパーチャージャーブラケット No.1	1	
P3	スーパーチャージャーブラケット No.2	1	
P4	スーパーチャージャーブラケット No.3	1	
P5	V リブドベルト	1	
P50	スペーサー (φ20 × φ10 × L25.4)	1	
P51	スペーサー (φ12.6 × φ8 × L18.4)	3	
P52	スペーサー (φ15 × φ6 × L35.5)	1	
P53	スペーサー (φ22 × φ8 × L51.5)	1	
P54	スペーサー (φ16 × φ8 × L82.4)	1	
P58	スペーサー (φ16 × φ8 × L35.5)	1	
P59	スペーサー (φ20 × φ10 × L35.5)	1	
P71	キャップボルト M10 L70	1	
P72	キャップボルト M10 L60	1	
P73	キャップボルト M8 L130	1	
P74	キャップボルト M8 L115	1	
P75	キャップボルト M8 L90	1	
P76	キャップボルト M8 L60	1	
P77	キャップボルト M8 L55	1	
P79	キャップボルト M8 L35	1	
P81	キャップボルト M6 L55	1	
P84	皿ボルト M8 L35	1	
P85	皿ボルト M8 L30	2	
P94	フランジボルト M6 L18	1	

(1) 2. (6)で加工した⑳オルターネーターブラケットを車両に取付け、㉑オートテンショナーを取付ける。

(2) ベルトのメンテナンス確認用に㉑オートテンショナーに油性のペイントマーカー等でマーキングを行なう。

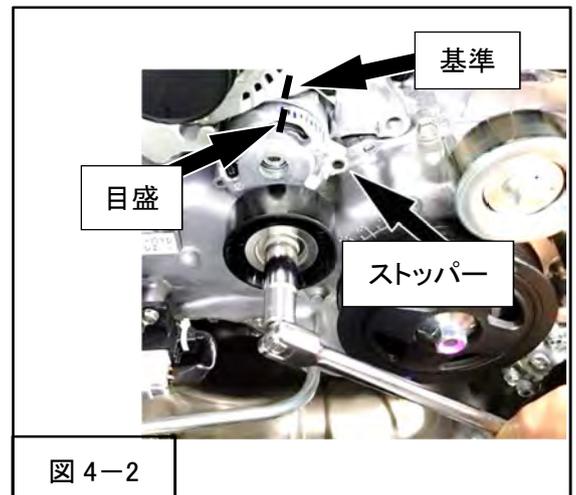
### アドバイス

- ◇ オルターネーターに基準、オートテンショナーの可動側に目盛をマーキングする。
- ◇ 右図はオートテンショナーがストッパーまでフルストロークしている状態

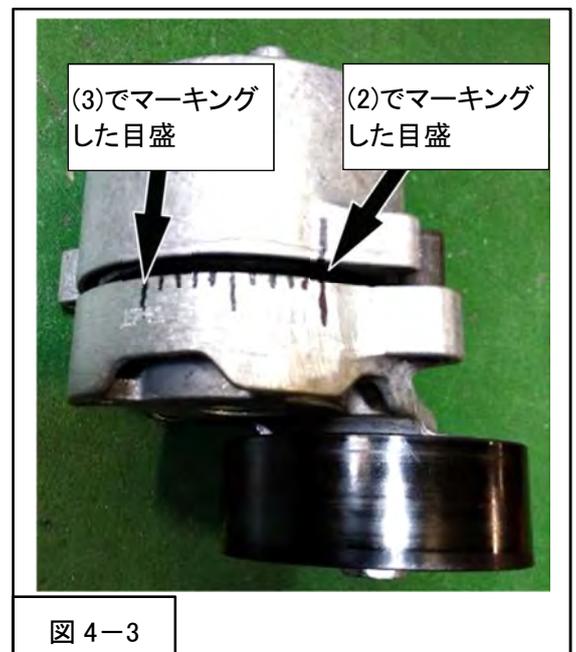


図 4-1

- (3) オートテンショナープーリーをストッパーに当たるまで右に回転(矢印方向)させて目盛をマーキングする。



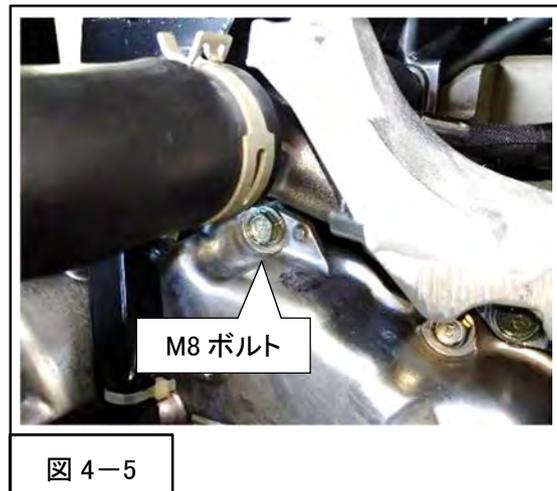
- (4) ⑳オートテンショナーを㉑オルターネーターブラケットから取外す。
- (5) 右図の様に、(2)と(3)でマーキングした目盛の間を8等分でマーキングする。



- (6) ⑳オートテンショナーを㉑オルターネーターブラケットに取付ける。
- (7) ㉑オルターネーターブラケットを固定している M10 ボルトの 1 個を取外す。



- (8) タイミングチェーンベルトカバーを固定している M8 のボルト 1 個を取外す。



- (9) スーパーチャージャーブラケット No.3 の  $\phi 7$  穴にフランジボルト M6 L18 を通しておく。

・P4 スーパーチャージャーブラケット No.3 × 1

・P94 フランジボルト M6 L18 × 1

**アドバイス**

◇ フランジボルト M6 L18 はスーパーチャージャーブラケット No.1 取付け後では取付けられない。

- (10) スーパーチャージャーブラケット No.3 をスーパーチャージャーブラケット No.1 に取付ける。ブラケットの位置出しのためにスペーサーとキャップボルト M8 L60 を  $\phi 9$  穴に通しておく。

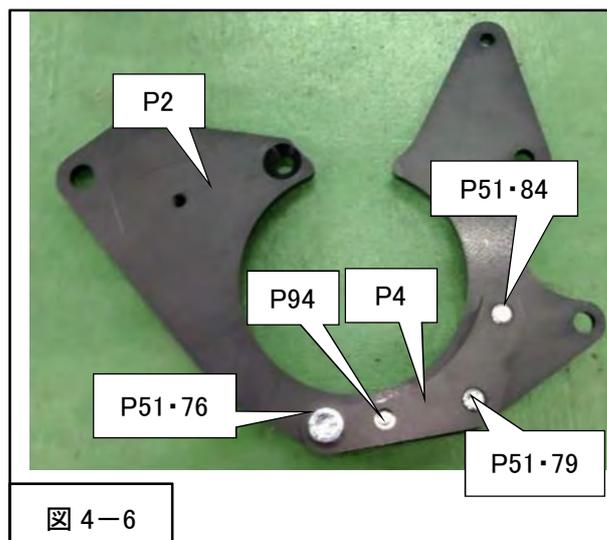
・P2 スーパーチャージャーブラケット No.1 × 1

・P51 スペーサー ( $\phi 12.6 \times \phi 8 \times L18.4$ ) × 3

・P76 キャップボルト M8 L60 × 1

・P79 キャップボルト M8 L35 × 1

・P84 皿ボルト M8 L35 × 1



**アドバイス**

◇ キャップボルト M8 L60 はこの後 GT2 スーパーチャージャー取付け時に使用します。

(11) スーパーチャージャーブラケット No.1 のφ9 穴に  
キャップボルト M8 L90 を通しておく。

・P75 キャップボルト M8 L90 ×1

**アドバイス**

◇ キャップボルト M8 L90 は GT2 スーパーチャージャー取付け後では取付けられない。

(12) GT2 スーパーチャージャーをスーパーチャージャー  
ブラケット No.1 に取付ける。

・P1 GT2 スーパーチャージャー ×1

・P85 皿ボルト M8 L30 ×2



図 4-7

(13) 1.(19)で取外した⑱オルターネーターを㉑オルター  
ネーターブラケットに仮付けする。



図 4-8

(14) スーパーチャージャーブラケット No.2 をエンジンに  
取付ける。

取付け後、(13)で仮付けした純正ボルトは取外す。

・P3 スーパーチャージャーブラケット No.2 ×1

・P50 スペーサー(φ20×φ10×L25.4) ×1

・P71 キャップボルト M10 L70 ×1

・P73 キャップボルト M8 L130 ×1

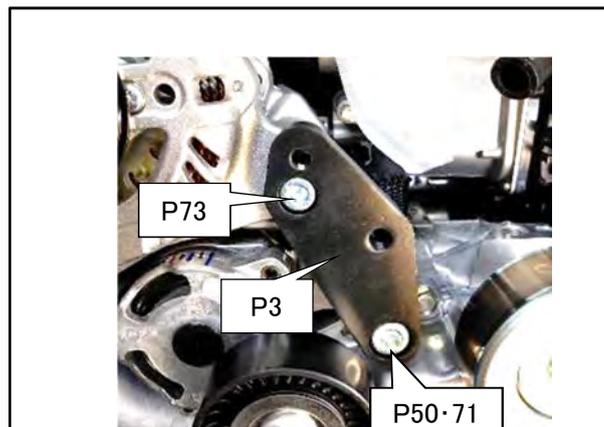


図 4-9

(15) VリブドベルトをGT2スーパーチャージャーのプーリーに巻き付けてスーパーチャージャーブラケット No.1 と Vリブドベルトをエンジンに仮付けする。

Vリブドベルトはスーパーチャージャーブラケットを本締めしてから本取付けを行うため\*7 アイドラープーリー以外のプーリーに仮付けする。

- ・P5 Vリブドベルト ×1
- ・P52 スペーサー(φ15×φ6×L35.5) ×1
- ・P53 スペーサー(φ22×φ8×L51.5) ×1
- ・P54 スペーサー(φ16×φ8×L82.4) ×1
- ・P74 キャップボルト M8 L115 ×1
- ・P75 キャップボルト M8 L90 ×1
- ・P81 キャップボルト M6 L55 ×1

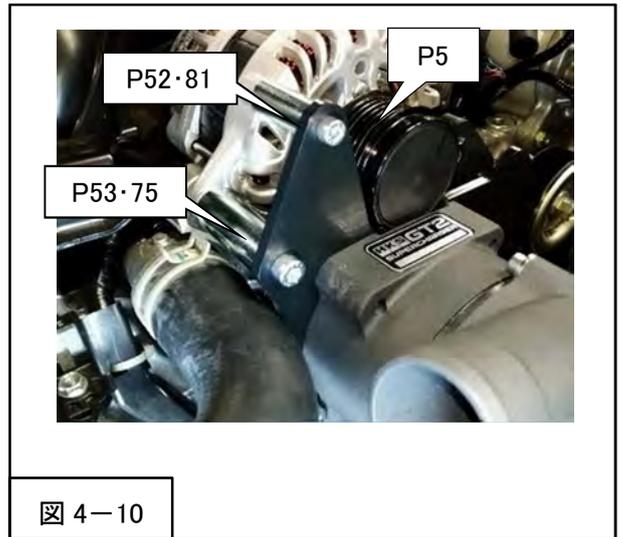


図 4-10

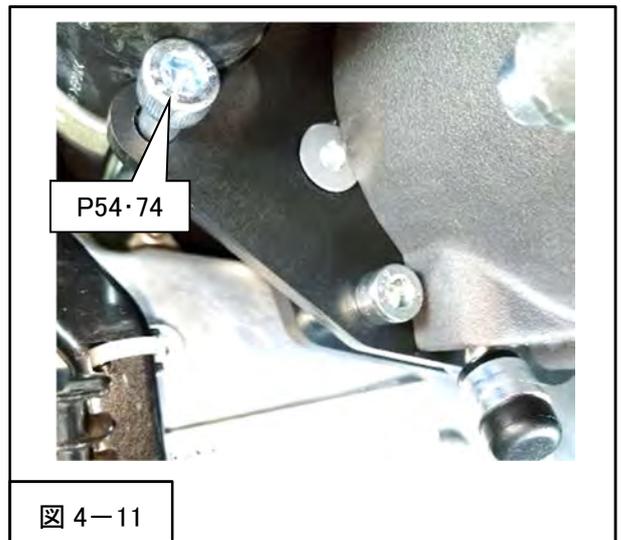


図 4-11

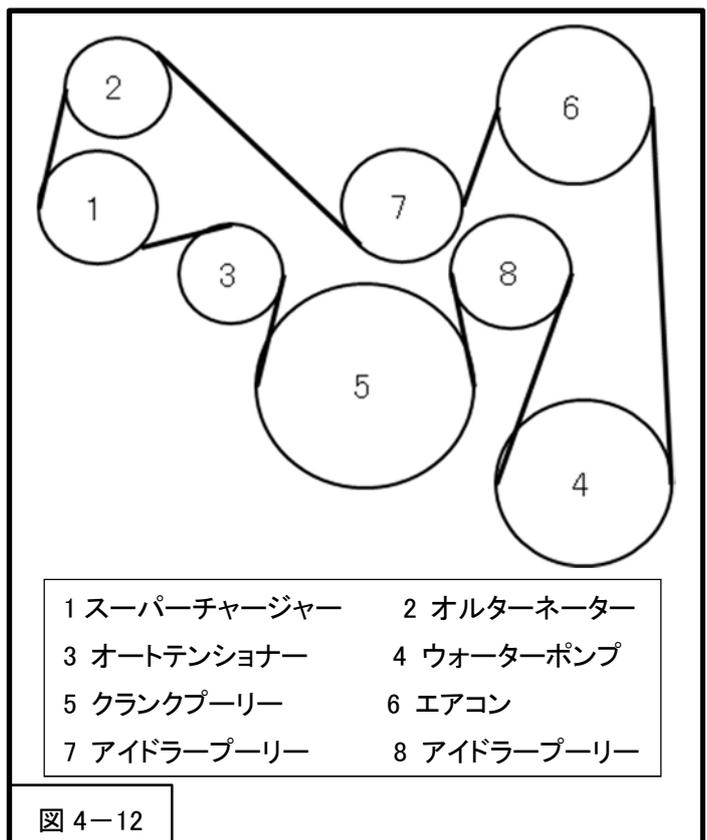


図 4-12

- (16) スーパーチャージャーブラケット No.1 とスーパーチャージャーブラケット No.2 を仮付けする。
- ・P58 スペーサー (φ16×φ8×L35.5) ×1
  - ・P59 スペーサー (φ20×φ10×L35.5) ×1
  - ・P72 キャップボルト M10 L60 ×1
  - ・P77 キャップボルト M8 L55 ×1

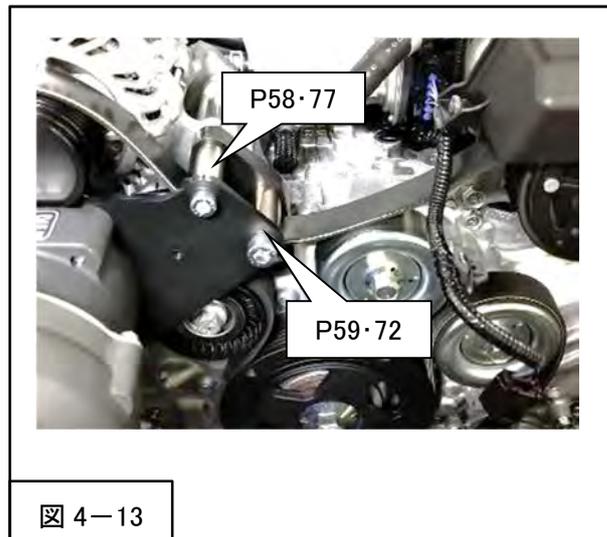


図 4-13

- (17) 4.(9)で仮付けしていたフランジボルト M6 L18 でスーパーチャージャーブラケット No.3 とエンジンを仮付けする。
- ・P94 フランジボルト M6 L18 ×1

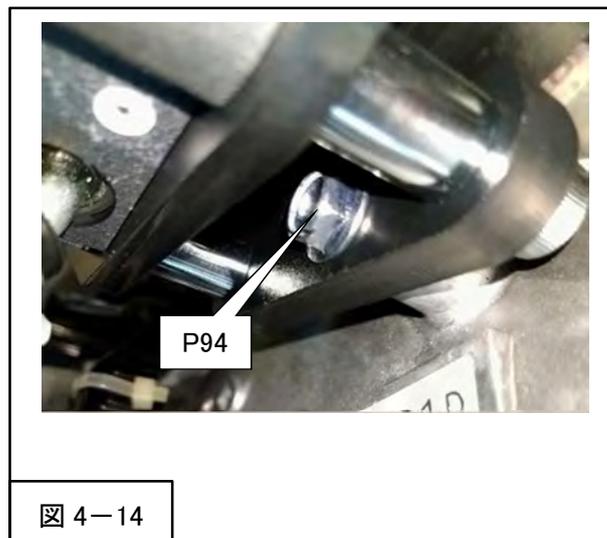


図 4-14

- (18) V リブドベルトがスーパーチャージャーブラケットやエンジンの間に挟まっていないことを確認して、各ボルトを一度に締付けずに数回に分けて順番に締付ける。

 注意

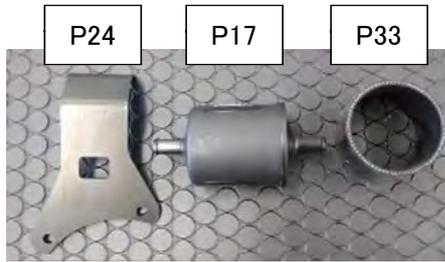
- ・各キャップボルトは一度に締付けずに数回に分けて順番に締付けてください。ブラケットの取付けが正しく行われない場合、ベルトアライメントが狂いベルトを損傷する恐れがあります。
- ・V リブドベルトがエンジンや部品の上に挟み込まないように確認を行いながら、ボルトの締付けを行ってください。挟みこみがあった場合、ベルトを損傷する恐れがあります。

- (19) 4.(15)で仮付けした V リブドベルトを\*7 アイドラープーリーに取付けて、V リブドベルトをエンジンに本付けする。

- (20) V リブドベルトが正しく装着されていることを目視で確認し、クランクプーリーを時計方向に回転させて動作に問題の無いことを確認する。

## 5. トラクションフルード配管の取付け

### パーツリスト



No.	品名	数量
P15	トラクションフルード	1
P16	トラクションフルードタンク	1
P17	トラクションフルードフィルター	1
P24	トラクションフルードフィルターブラケット	1
P25	トラクションフルードタンクブラケット	1
P33	シリコンホース $\phi 65$ L43	1
P38	トラクションフルードホース $\phi 10$	1
P44	オイルレベルゲージクランプ	1
P55	スペーサー ( $\phi 20 \times \phi 10 \times L6$ )	1
P64	ホースバンド #36	1
P68	ホースクランプ $\phi 15.5$	4
P69	ホースクランプ $\phi 13.0$	2
P86	ボタンボルト M10 L20	1
P91	フランジボルト M8 L20	2
P99	フランジナット M10	1
P105	タイラップ(中)	9

### アドバイス

- ◇ GT2 スーパーチャージャーのトラクションフルードに異物が混入すると GT2 スーパーチャージャーが破損します。フルード配管の作業中ホースやタンクに異物が混入しないよう、ホース端、ニップルには栓をして作業を行ってください。
- ◇ 下図はトラクションフルード配管図です。以降の作業は図を参照し、配管の間違いないように作業を行ってください。

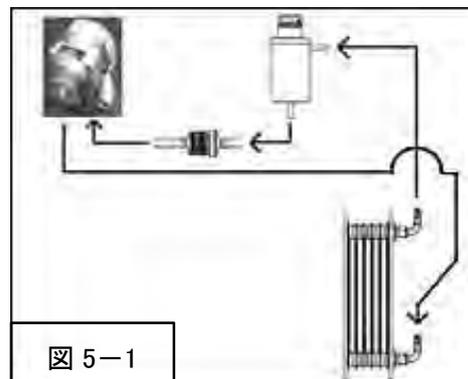


図 5-1

- (1) トラクションフルードホース  $\phi 10$  を①220mm、②490mm に切取る。

・P38 トラクションフルードホース  $\phi 10 \times 1$

(2) シリコンホース  $\phi 55$  L43 をトラクションフルードフィルターに取付ける。

- ・P17 トラクションフルードフィルター ×1
- ・P33 シリコンホース  $\phi 55$  L43 ×1

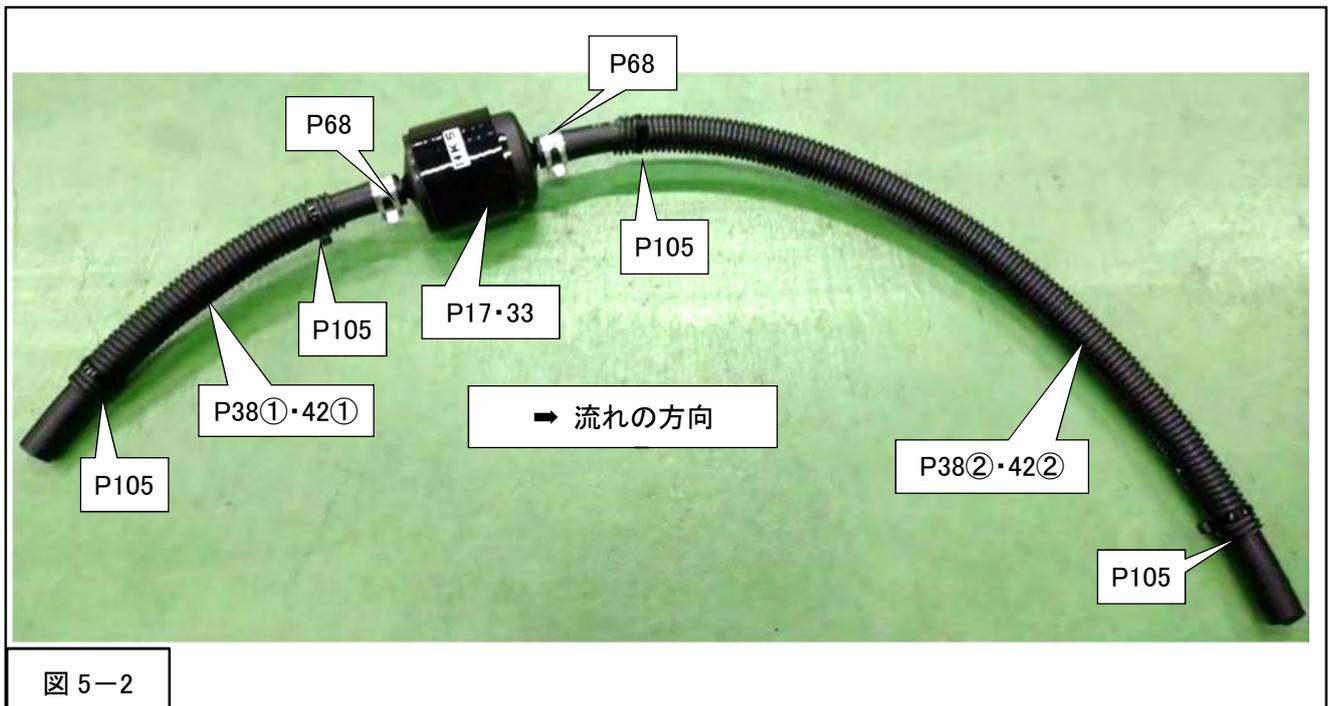


図 5-2

(3) 5.(1)で切取ったトラクションフルードホース  $\phi 10$ ①および②をトラクションフルードフィルターに取付ける。

- ・P68 ホースクランプ  $\phi 15.5$  ×2

**アドバイス**

◇ トラクションフルードフィルターには流れの向きがあるため、取付けの際に注意してください。流れの方向は、トラクションフルードフィルターに矢印で刻印されています。

(4) 3.(3)で切り取ったコルゲートチューブ  $\phi 15$ ①と②をトラクションフルードホース  $\phi 10$ ①と②に取付ける。

- ・P105 タイラップ(中) ×4

(5) GT2 スーパーチャージャーのコンプレッサーハウジングを固定している M6 のボルト 2 個を取外して、トラクションフルードフィルターブラケットを取付ける。

- ・P24 トラクションフルードフィルターブラケット ×1

**アドバイス**

◇ コンプレッサーハウジングを固定していた大径ワッシャーは使用しない。

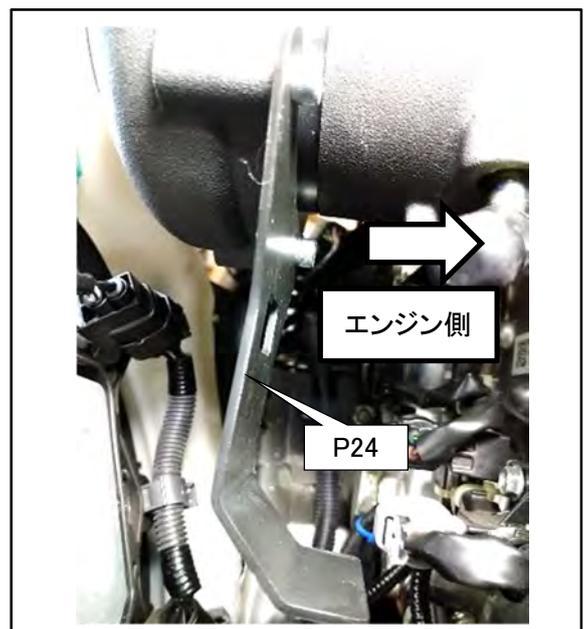


図 5-3

- (6) トラクションフルードホース  $\phi 8$ ①をエアコンコンデンサーの横からエンジンルームに通す。  
 ・P105 タイラップ(中) × 1

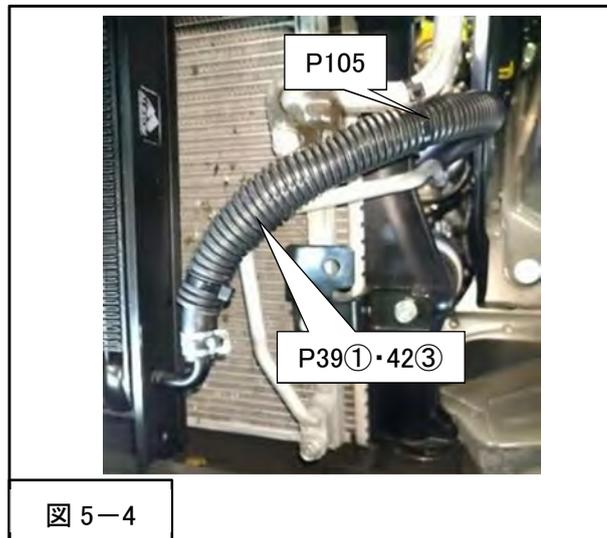


図 5-4

- (7) トラクションフルードホース  $\phi 8$ ①を GT2 スーパーチャージャーに取付ける。  
 ・P69 ホースクランプ  $\phi 13.0$  × 1
- (8) トラクションフルードフィルターをトラクションフルードフィルターブラケットに取付ける。  
 ・P64 ホースバンド #36 × 1

- (9) トラクションフルードホース  $\phi 10$ ②を GT2 スーパーチャージャーに取付ける。  
 ・P68 ホースクランプ  $\phi 15.5$  × 1

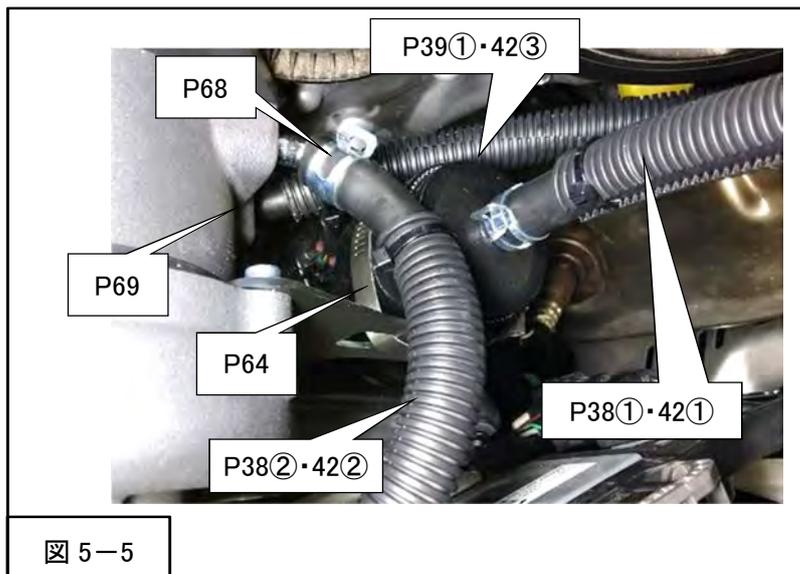


図 5-5

- (10) トラクションフルードタンクをトラクションフルードタンクブラケットに取付ける。  
 ・P16 トラクションフルードタンク × 1  
 ・P25 トラクションフルードタンクブラケット × 1  
 ・P91 フランジボルト M8 L20 × 2

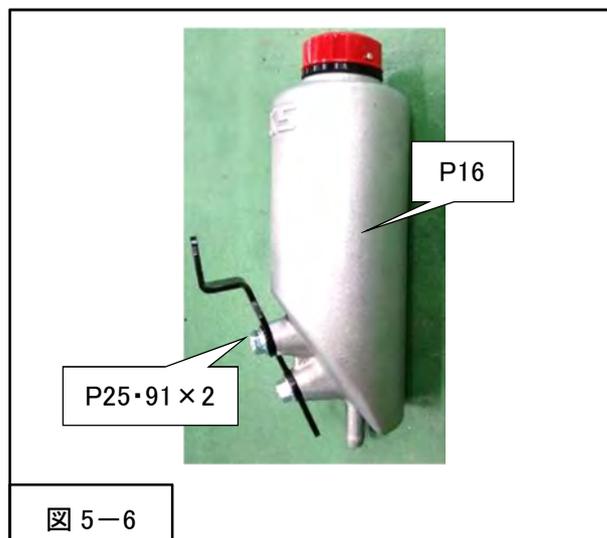
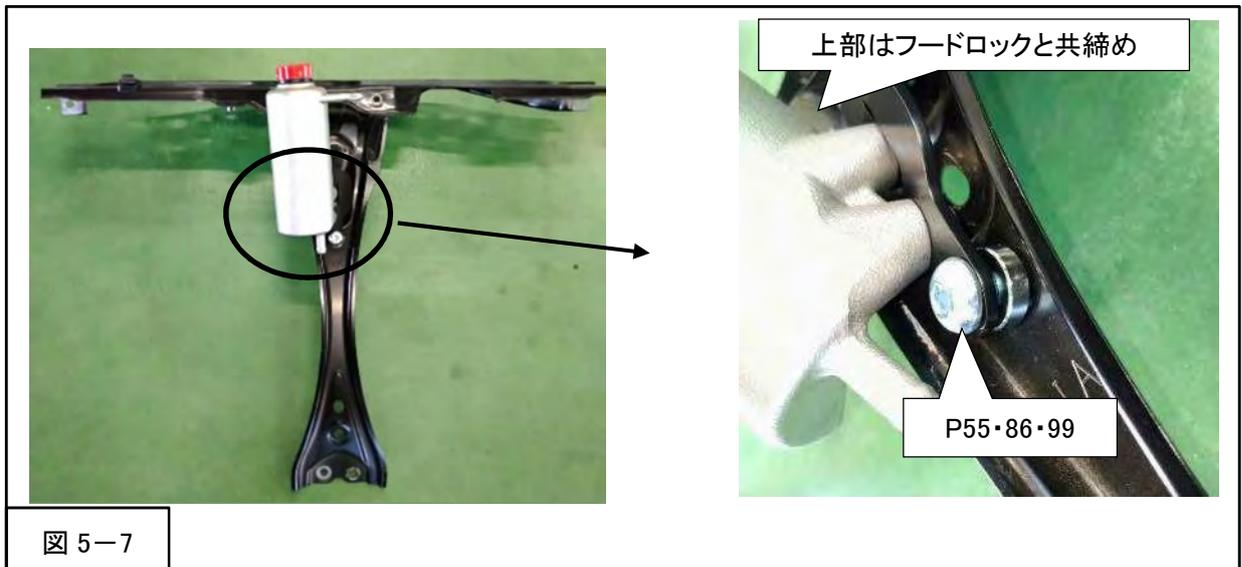


図 5-6

(11) トラクションフルードタンクブラケットを 2.(5)で加工した㉓ラジエーターサポートに取付ける。

- ・P55 スペーサー (φ20×φ10×L6) ×1
- ・P86 ボタンボルト M10 L20 ×1
- ・P99 フランジナット M10 ×1

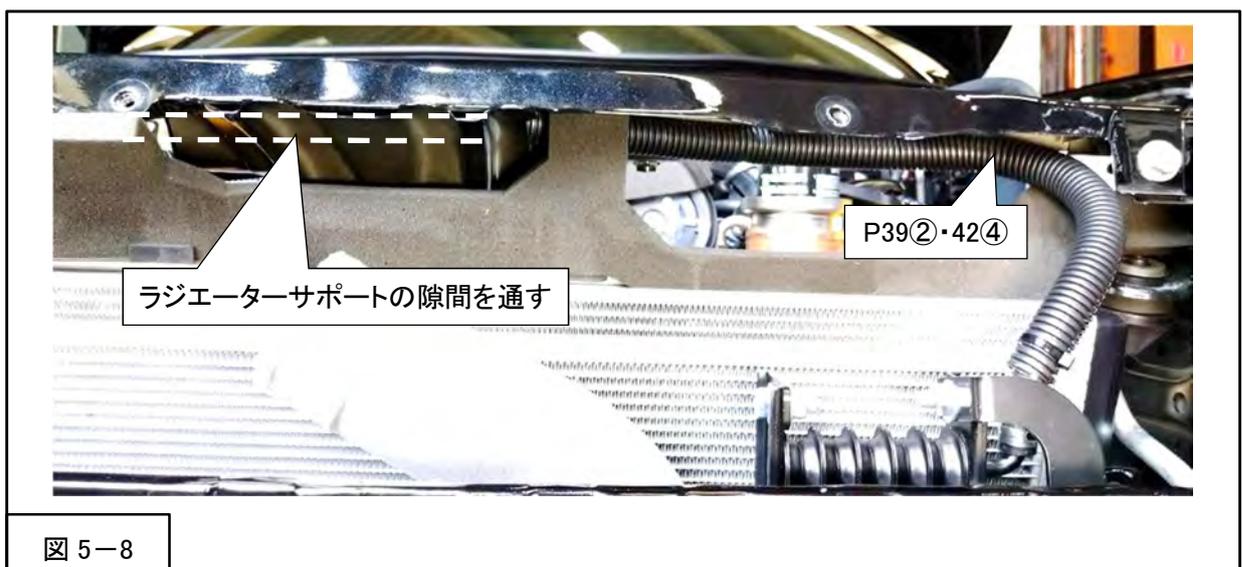


(12) ㉓ラジエーターサポートを車両に取付ける。

(13) ㉒フードロックを車両に取付ける。

(14) トラクションフルードホースφ8㉒をラジエーターサポートの下図の位置に通して、トラクションフルードタンクの上側のニップルに取付ける。

- ・P69 ホースクランプ φ13.0 ×1



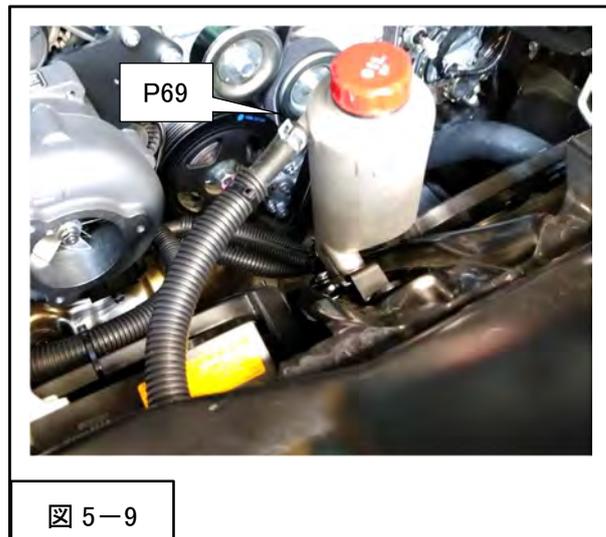


図 5-9

- (15) トラクションフルードホースφ10①をトラクションフルードタンクの下側のニップルに取付ける。  
 ・P68 ホースクランプ φ15.5 ×1

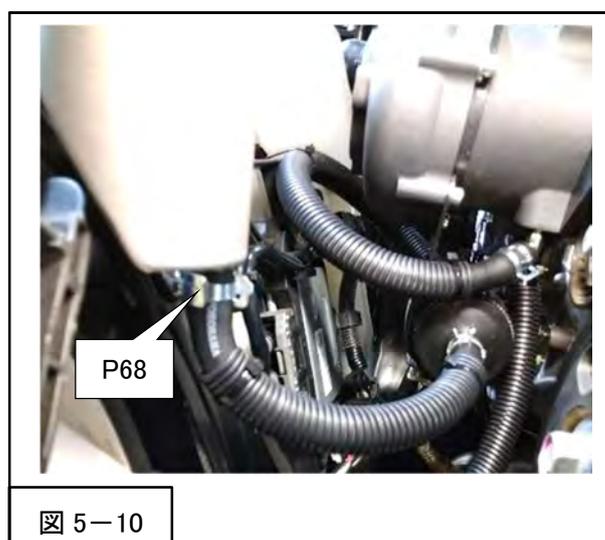


図 5-10

- (16) 2.(11)で加工した⑪オイルレベルゲージを純正ボルトを再使用してスーパーチャージャーブラケット No.1 とエンジンに取付ける。  
 ・P44 オイルレベルゲージクランプ ×1

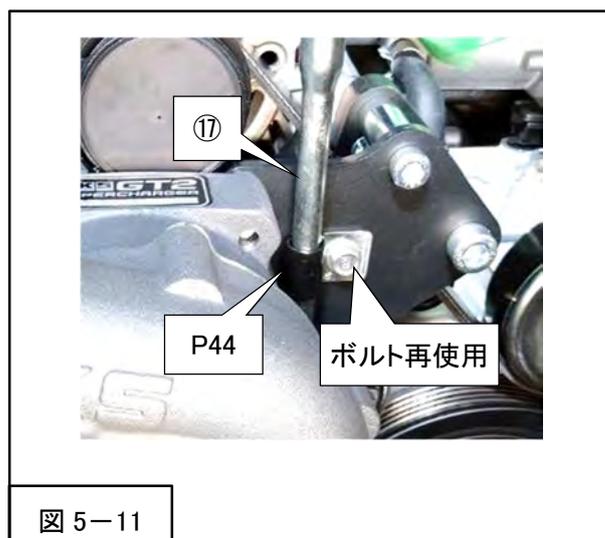
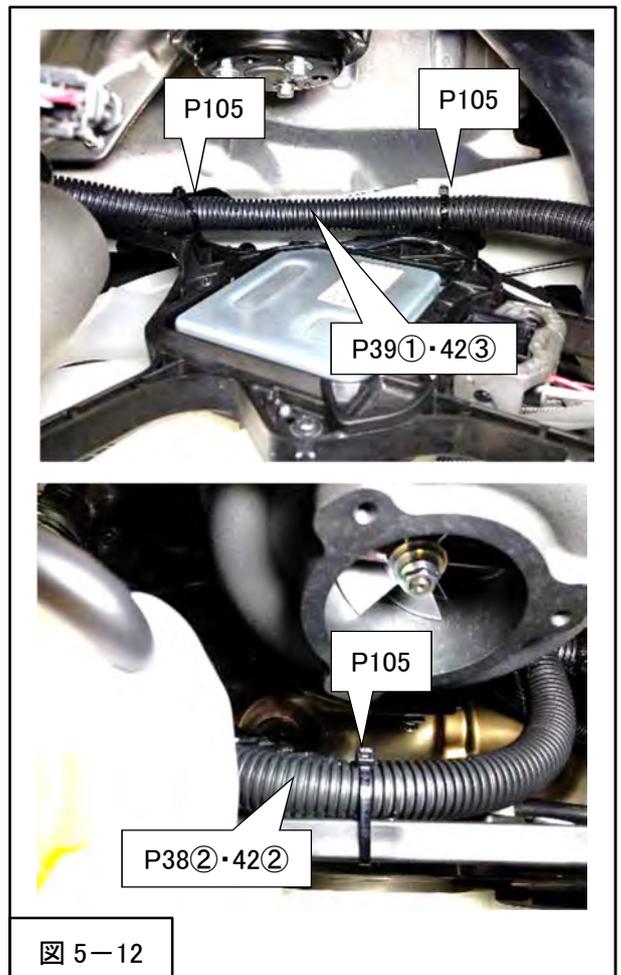
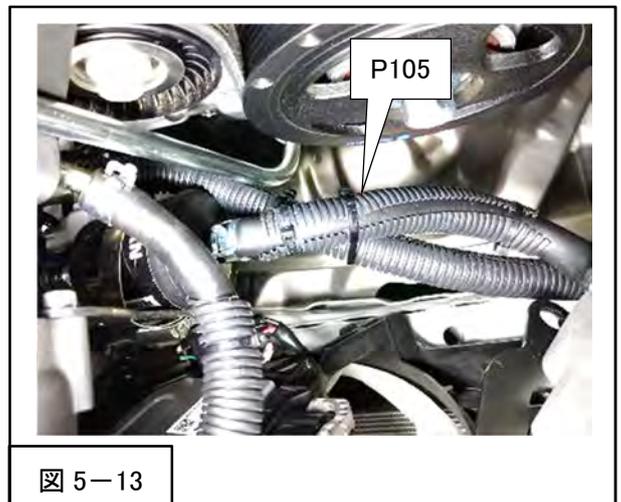


図 5-11

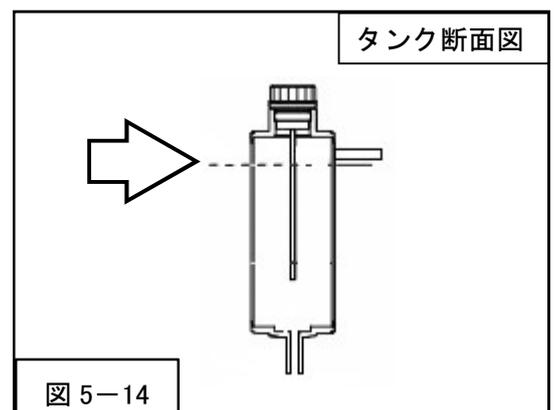
- (17) トラクションフルードホース  $\phi 10$ ②と $\phi 8$ ①をタイラップ  
(中)でラジエーターファンシュラウドに固定する。  
・P105 タイラップ(中) × 3



- (18) トラクションフルードホース  $\phi 10$ ①と $\phi 8$ ①をタイラップ  
(中)で固定する。  
・P105 タイラップ(中) × 1



- (19) トラクションフルードタンク内に異物が無いことを確認し、  
トラクションフルードを图中矢印のトラクションフルードタンク  
のリターンパイプの下位置まで注入し、キャップを閉める。  
・P15 トラクションフルード × 1

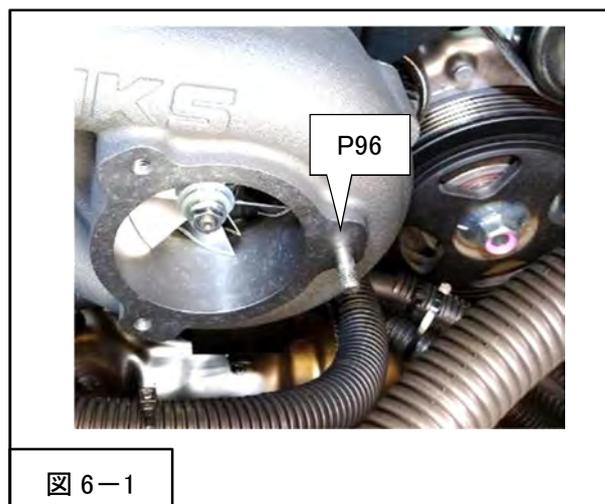


## 6. サクションパイプの取付け

パーツリスト		
No.	品名	数量
P7	サクションパイプ	1
P8	リストラクター	1
P9	サクションパイプガスケット	1
P19	ブローバイパイプブラケット	1
P28	エアクリーナーブラケット No.1	1
P29	エアクリーナーブラケット No.2	1
P31	エアクリーナーリッド	1
P35	シリコンホース $\phi 61-\phi 79$	1
P45	ブローバイパイプ	1
P56	スペーサー ( $\phi 18 \times \phi 6 \times L5$ )	1
P61	ホースバンド #52	1
P63	ホースバンド #40	2
P68	ホースクランプ $\phi 15.5$	1
P92	フランジボルト M6 L25	2
P93	フランジボルト M6 L20	2
P94	フランジボルト M6 L18	1
P95	フランジボルト M6 L15	1
P96	スタッドボルト M6 8-7-8	1
P101	フランジナット M6	2
P105	タイラップ(中)	1
P106	タイラップ(小)	3

(1) GT2 スーパーチャージャーにスタッドボルトを取付ける。

・P96 スタッドボルト M6 8-7-8 ×1



(2) サクションパイプを GT2 スーパーチャージャーに取付ける。

- ・P7 サクションパイプ ×1
- ・P9 サクションパイプガスケット ×1
- ・P93 フランジボルト M6 L20 ×2
- ・P101 フランジナット M6 ×1

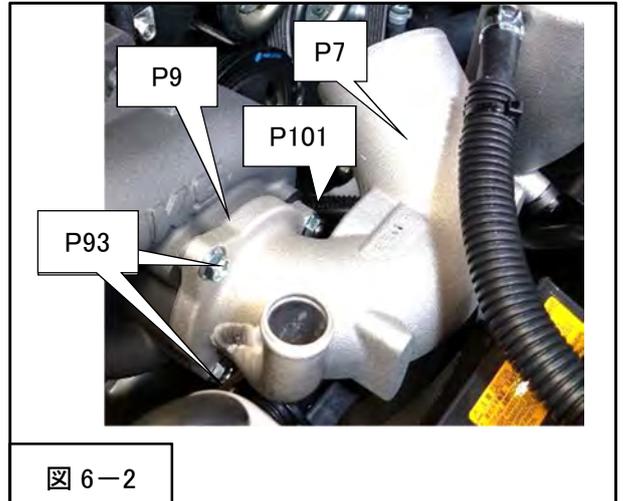


図 6-2

(3) 2.(8)で加工した⑭エアクリナーケースにエアクリナーリッドを取付ける。

- ・P31 エアクリナーリッド ×1
- ・P106 タイラップ(小) ×3

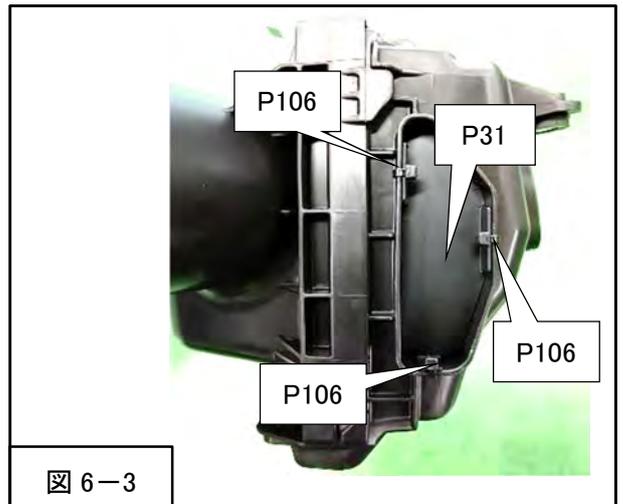


図 6-3

(4) エアクリナーブラケット No.2 を純正のエアクリナーブラケットと交換し、エアクリナーケースを車両に取付ける。エアクリナーケースの固定には純正ボルトを再使用する。

- ・P28 エアクリナーブラケット No.1 ×1
- ・P29 エアクリナーブラケット No.2 ×1
- ・P56 スペーサー(φ18×φ6×L5) ×1
- ・P94 フランジボルト M6 L18 ×1
- ・P95 フランジボルト M6 L15 ×1
- ・P101 フランジナット M6 ×1

#### アドバイス

- ◇ スペーサーはエアクリナーブラケット No.1 と車両との間に入れる。

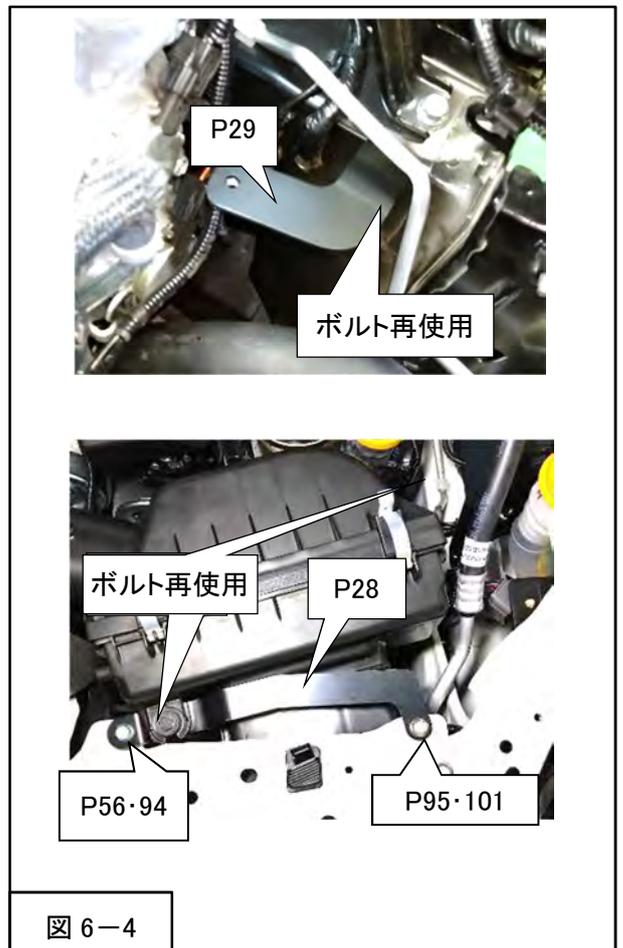
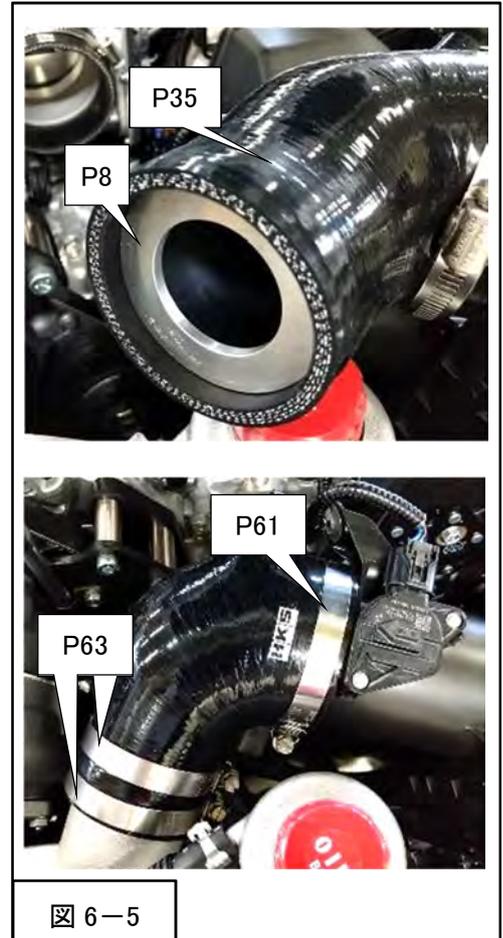


図 6-4

- (5) シリコンホースのφ61側にリストリクターを浅めに入れておき、そのままφ61側をサクションパイプに、φ79側をエアクリナーケースに取付ける。リストリクターがサクションパイプに突き当たった所でホースバンドを締付ける。ホースバンド#40の1つはリストリクターの位置で締付けるようにする。

- ・P8 リストリクター × 1
- ・P35 シリコンホースφ61-φ79 × 1
- ・P61 ホースバンド#52 × 1
- ・P63 ホースバンド#40 × 2

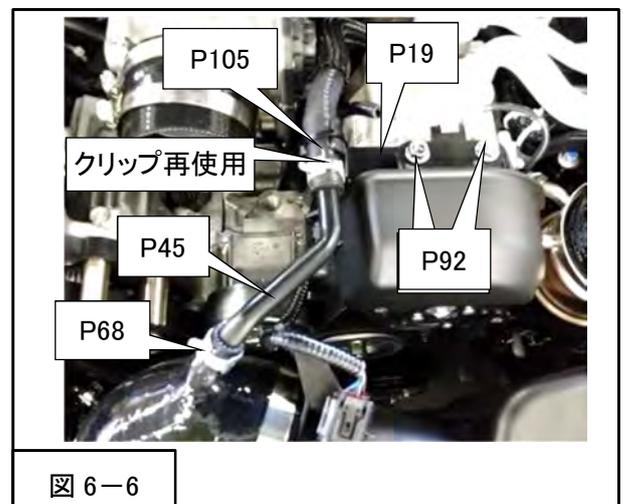


- (6) ブローバイパイプブラケットを 1.(16)で取外したベルトカバーと共締めする。取付けはブローバイパイプブラケットの上にベルトカバーとなるようにする。

- ・P19 ブローバイパイプブラケット × 1
- ・P92 フランジボルト M6 L25 × 2

- (7) ブローバイパイプをシリコンホースとブローバイホースに取付ける。ブローバイホースへの差し込み量は最低 50mm とする。

- ・P45 ブローバイパイプ × 1
- ・P68 ホースクランプ φ15.5 × 1



- (8) ブローバイパイプをブローバイパイプブラケットにタイラップで固定する。

- ・P105 タイラップ(中) × 1

#### アドバイス

◇ タイラップはブローバイパイプに差し込んだブローバイホースの部分で固定する。

- (9) エアフローメータのコネクターを接続する。

## 7. インタークーラーパイプの取付け

パーツリスト		
No.	品名	数量
P10	インタークーラーインレットパイプ	1
P11	インタークーラーアウトレットパイプ No.1	1
P12	インタークーラーアウトレットパイプ No.2	1
P32	シリコンホース $\phi 60$ L70	3
P34	シリコンホース $\phi 50-\phi 60$	1
P36	シリコンホース $\phi 74-\phi 79$	1
P60	インシュレーターラバー	1
P62	ホースバンド #48	2
P63	ホースバンド #40	7
P64	ホースバンド #36	2

- (1) インタークーラーインレットパイプをインタークーラーに仮付けする。

- ・P10 インタークーラーインレットパイプ ×1
- ・P32 シリコンホース  $\phi 60$  L70 ×1
- ・P63 ホースバンド #40 ×2

- (2) インタークーラーインレットパイプをインタークーラーインレットパイプブラケットに固定する位置をマーキングして、一旦、インタークーラーから取外す。

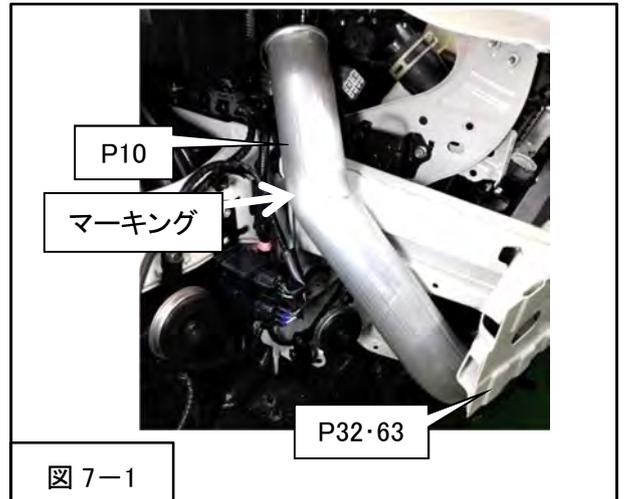


図 7-1

- (3) インシュレーターラバーをインタークーラーインレットパイプに取付ける。

- ・P60 インシュレーターラバー ×1

### アドバイス

- ◇ インシュレーターラバーはテープ等で固定すると取付けしやすい。



図 7-2

- (4) インタークーラーインレットパイプをインタークーラー  
に取付け、インタークーラーパイプブラケットにホース  
バンド #36 を使用して固定する。

・P64 ホースバンド #36 ×1

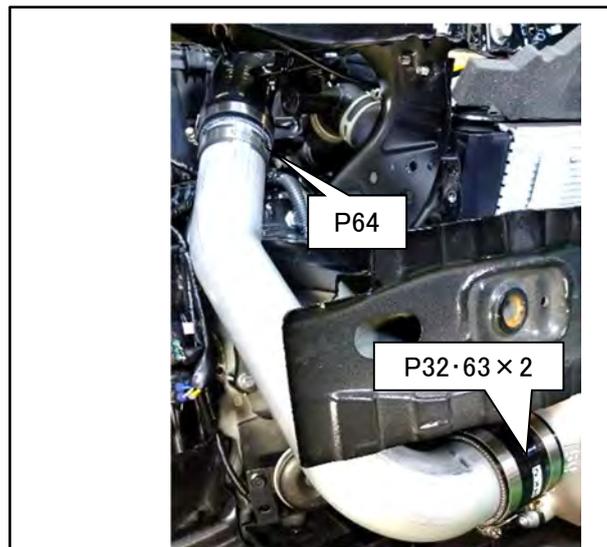


図 7-3

- (5) シリコンホース  $\phi 50-\phi 60$  を GT2 スーパーチャ  
ージャーとインタークーラーインレットパイプに取付ける。

・P34 シリコンホース  $\phi 50-\phi 60$  ×1

・P63 ホースバンド #40 ×1

・P64 ホースバンド #36 ×1

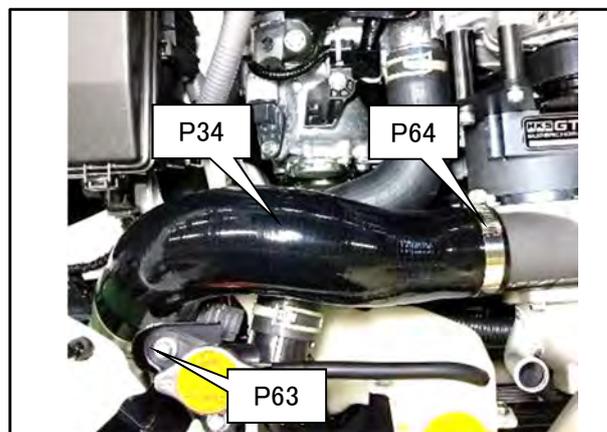


図 7-4

- (6) インタークーラーパイプアウトレット No.1 を通すため、  
スポンジにハサミ等で切込みを入れる。

#### アドバイス

- ◇ インタークーラーパイプは  $\phi 60$  だが、70~80mm  
程度の切込みにすると作業しやすい。

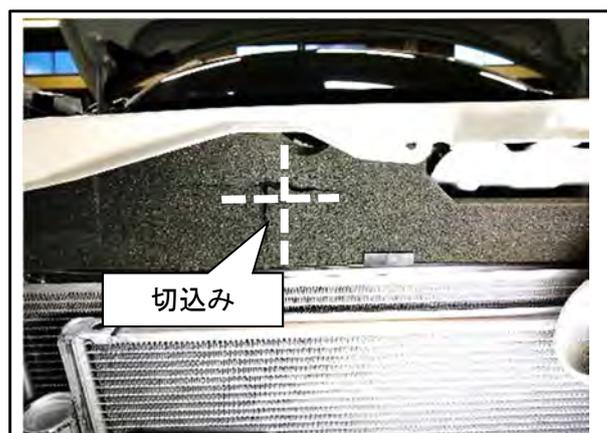


図 7-5

(7) インタークーラーアウトレットパイプ No.1 および No.2 を  
インタークーラーおよびスロットルに取付ける。

- ・P11 インタークーラーアウトレットパイプ No.1 ×1
- ・P12 インタークーラーアウトレットパイプ No.2 ×1
- ・P32 シリコンホース  $\phi 60$  L70 ×2
- ・P36 シリコンホース  $\phi 74$ - $\phi 79$  ×1
- ・P62 ホースバンド #48 ×2
- ・P63 ホースバンド #40 ×4

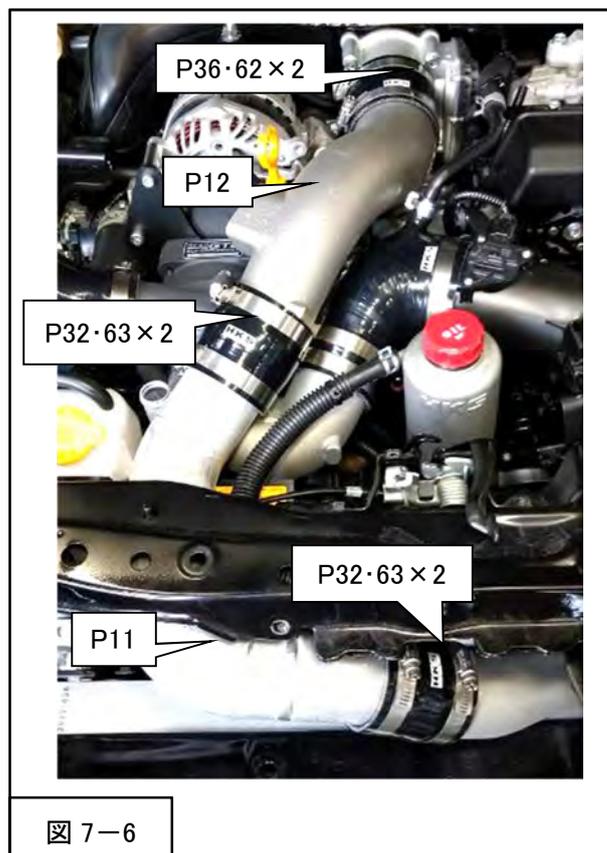


図 7-6

## 8. ブローオフバルブの取付け

パーツリスト			
No.	品名	数量	
P13	ブローオフバルブ (キャップボルト M6 L=45 2本付属)	1	
P14	ブローオフバルブガスケット	1	
P37	シリコンホース $\phi 22-\phi 25$	1	
P40	ホース $\phi 16$	1	
P41	ホース $\phi 4$	1	
P46	スリーウェイ $\phi 16-\phi 4-\phi 16$	1	
P65	ホースクランプ $\phi 29.5$	1	
P66	ホースクランプ $\phi 26.0$	1	
P67	ホースクランプ $\phi 23.0$	3	
P70	ホースクランプ $\phi 6.8$	2	
P105	タイラップ(中)	2	



P13



P14

P37

- (1) ブローオフバルブをインタークーラーアウトレットパイプ No.2 に取付ける。
- ・P13 ブローオフバルブ (キャップボルト M6 L=45 2本付属) ×1
  - ・P14 ブローオフバルブガスケット ×1



### 注意

- ・ブローオフバルブは必ず付属のボルトにて取付けてください。他のボルトを使用した場合、ブローオフバルブを正しく取付けできずエア漏れやブローオフバルブが破損する恐れがあります。

- (2) シリコンホース  $\phi 22-\phi 25$  をブローオフバルブとサクションパイプに取付ける。
- ・P37 シリコンホース  $\phi 22-\phi 25$  ×1
  - ・P65 ホースクランプ  $\phi 29.5$  ×1
  - ・P66 ホースクランプ  $\phi 26.0$  ×1

### アドバイス

- ☆ シリコンホース  $\phi 25$  穴側をサクションパイプに取付ける。

- (3) ホース  $\phi 4$  を 650mm に切り取る。
- ・P41 ホース  $\phi 4$  ×1

- (4) エンジンカバーを取外す。

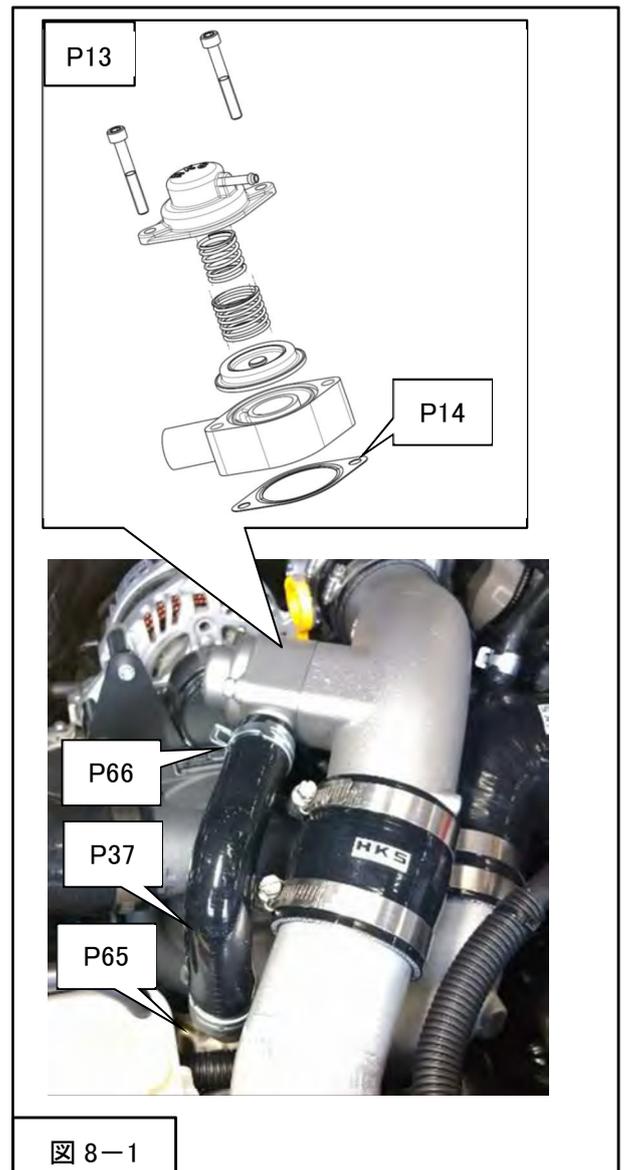
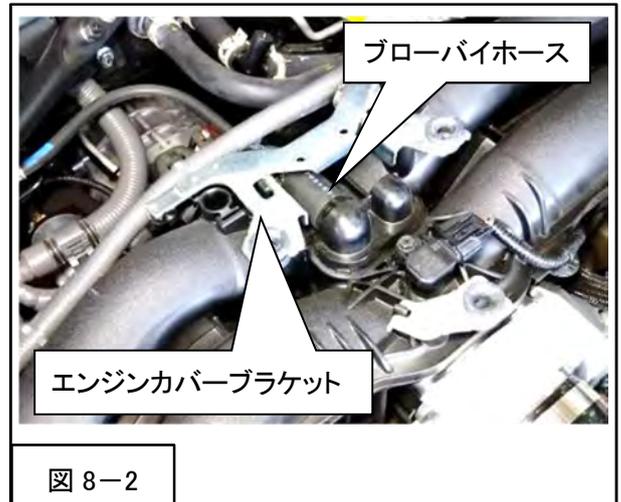


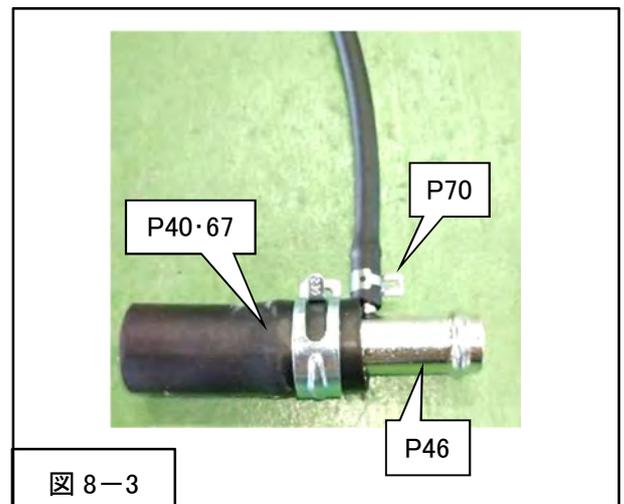
図 8-1

- (5) エンジンカバーブラケットを外し、ブローバイホースを取外す。

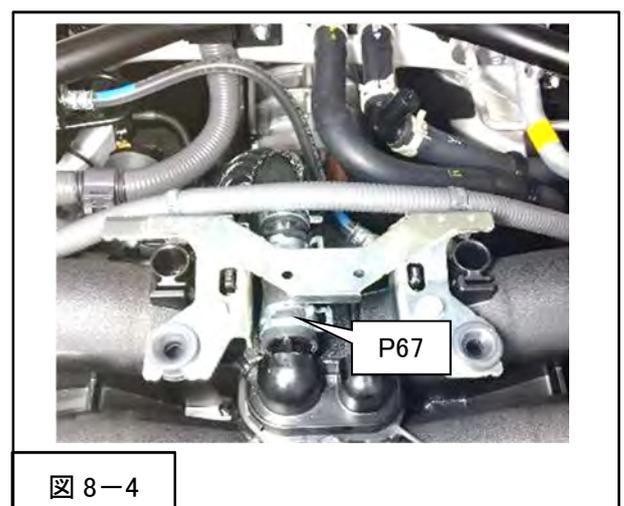


- (6) 8.(3)で切り取ったホースφ4・8.(5)で取外したブローバイホース・ホースφ16 をスリーウェイφ16-φ4-φ16 に取付ける。ブローバイホースはホースクランプφ23.0で取付ける。

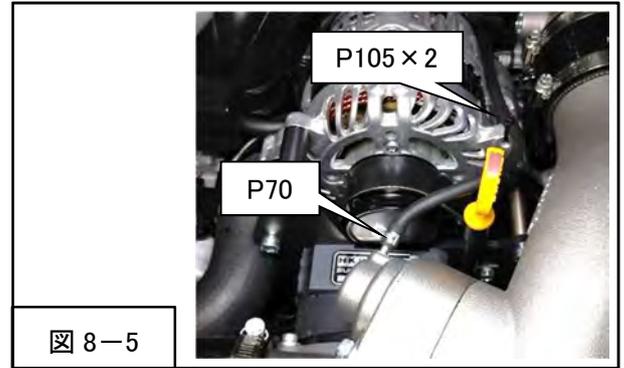
- ・P40 ホースφ16 ×1
- ・P46 スリーウェイφ16-φ4-φ16 ×1
- ・P67 ホースクランプφ23.0 ×2
- ・P70 ホースクランプφ6.8 ×1



- (7) ホースφ16をインテークマニホールドに取付ける。  
・P67 ホースクランプφ23.0 ×1



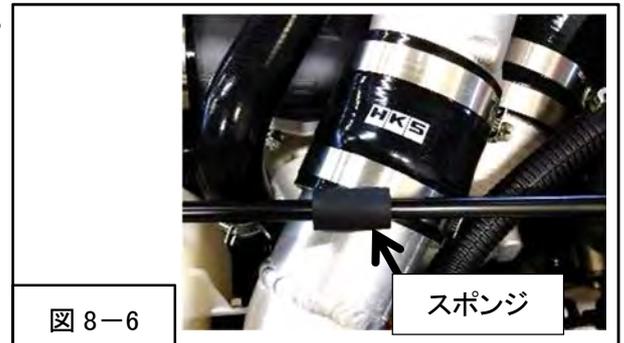
- (8) ホース φ4 をブローオフバルブに取付ける。  
 ・P70 ホースクランプ φ6.8 ×1  
**アドバイス**  
 ☆ ホース φ4 はインテークマニホールドの下を通す。



- (9) ホース φ4 をオルターネーターに固定する。  
 ・P105 タイラップ(中) ×2

- (10) エンジンカバーブラケットをエンジンに取付け、エンジンカバーを取付ける。

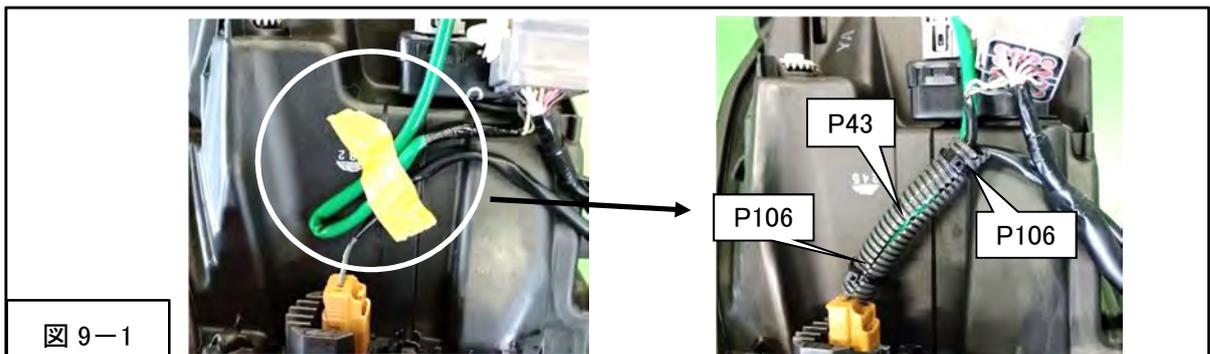
- (11) フードサポートロッドのスポンジを図の位置に移動する。



## 9. ノーマルパーツの取付け

パーツリスト			
	No.	品名	数量
	P30	インレットダクトブラケット	1
	P43	コルゲートチューブ φ10	1
	P104	リベット	2
	P106	タイラップ(小)	2

- (1) 2.(12)で加工した⑧右ヘッドランプの配線を左の写真のように束ねてコルゲートチューブ φ10 を取付ける。  
 ・P43 コルゲートチューブ φ10 ×1  
 ・P106 タイラップ(小) ×2

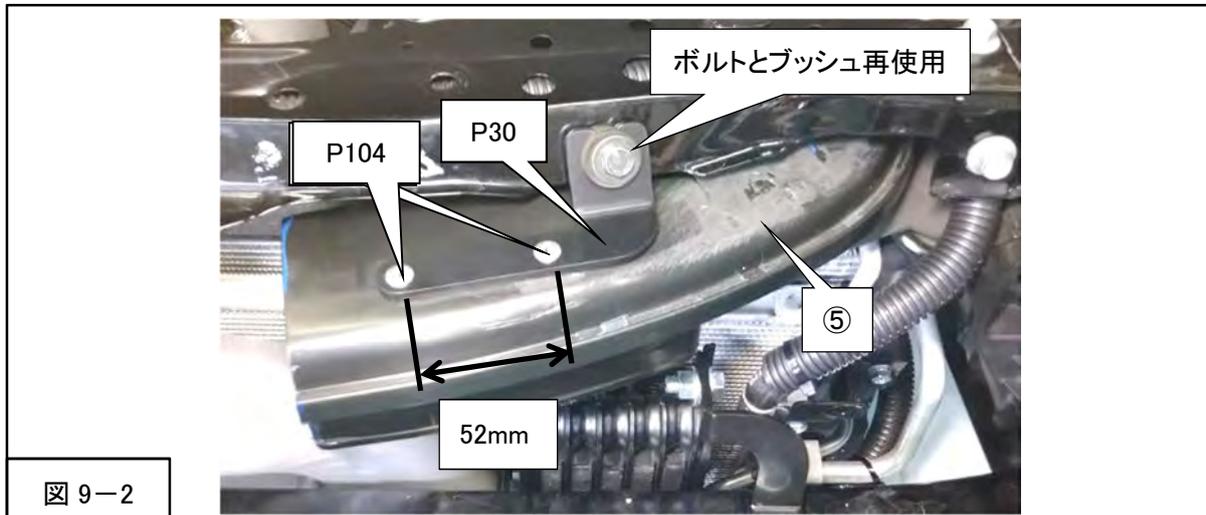


- (2) ⑧右ヘッドランプを車両に取付ける。  
 (3) 1.(8)で取外した左右の⑦フロントバンパーコーナーブラケットを取付ける。

(4) 2.(9)で加工した⑤エアクリーナーインレットとインレットダクトブラケットを仮付けする。インレットダクトブラケットのφ6穴位置を参照にし、下図に示す位置にリベット用のφ6穴を開ける。その後、純正ボルトとリベットでエアクリーナーインレットを取付ける。

・P30 インレットダクトブラケット ×1

・P104 リベット ×2



(5) 2.(13)で加工した④フロントバンパーエネルギーアブソーバーを取付ける。

(6) ②フロントバンパーを取付ける。

(7) 左右の①サイドターニングナルランプコネクタ-左右を取付ける。

(8) バッテリーのマイナス端子を取付ける。

## 10. 取付け後の確認とトラクションフルード量の調整

本製品を取付けた後、必ず下記の作業を行う。

(1) エンジン始動前に下記の事項を確認する。

	確認項目	確認
1	トラクションフルード配管が正しく行われているか。	
2	取付けた部品が各部に干渉していないか。	
3	各ハーネスを強くはさんでいないか。	
4	ベルトがプーリーの溝にしっかり合っているか。	
5	トラクションフルードがタンク内リターンパイプの下の位置まであるか。	
6	パイプ・ホース類の配管が間違っていないか。	
7	ホースにねじれや過度の曲げがないか。	
8	ホースバンドが確実に締まっているか。	
9	ボルト・ナット類が確実にしまっているか。	
10	取付けた部品がしっかりと固定されているか。	
11	バッテリーのマイナス端子にケーブルターミナルが確実に取付けられているか。	
12	エンジンオイルがレベルゲージのH~Lの間にあるか。	

(2) トラクションフルードをビーカー等に少量準備しておき、トラクションフルードタンクのキャップを外してエンジンを始動する。

(3) エンジン始動直後、下記の作業を実施する。

1. トラクションフルードタンクのフルードレベルが下がり始め、トラクションフルードタンクにトラクションフルードが戻ってくる事を確認する。
2. トラクションフルードタンク内のフルードが無くならないよう、無くなる前にビーカー等に準備したトラクションフルードを継ぎ足す。その際、タンクからあふれないようにする。

※ エンジン始動直後、暖気中に GT2 スーパーチャージャーから“ジャラジャラ”といった作動音が聞こえます。これはトラクションフルードが暖まる約2~3分後に聞こえなくなるものであり、異常ではありません。

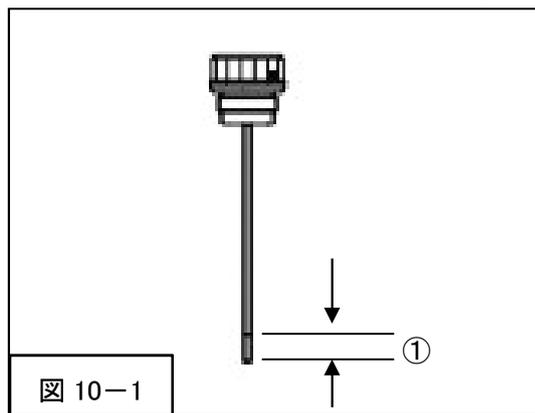
(4) エンジン暖気後に下記の事項を確認する。

### アドバイス

◇ 暖気中はエンジンの回転を上げないようにする。(アイドリング運転)

	確認項目	確認
1	トラクションフルードタンクにトラクションフルードが戻っているか。	
2	各部から、トラクションフルード、冷却水、エアが漏れていないか。	
3	ハーネス、ホース類が引っ張られていないか。	
4	部品による干渉音が無いか。	

- (5) 上記項目に異常が無いことを確認した後、エンジン回転数を 10 秒間 2,000rpm に維持し、速やかにエンジンを停止して、トラクションフルードがレベルゲージのマーキングレベル(図中①)まであるか確認し、過不足を調整する。



※残ったトラクションフルードは、トラクションフルードが入っていた容器でキャップをして保存してください。

トラクションフルードは特殊な成分により構成されているため、他の容器で保存した場合、成分の変化や容器を侵す場合があります。

- (6)トラクションフルードタンクのキャップを閉める。

以上で取付け作業は終了です。

※走行後、エンジンルームが高温になっている状態でエンジンを停止した場合、ベルトから“キュッ”と音が出る場合があります。これは純正のオートテンショナーがベルトの張りを調整しているため発生しているものであり、異常ではありません。

# 11. 1ヶ月点検の実施

○本製品を取付けてから1ヶ月後(40日以内)に添付の1ヶ月点検記録用紙に従い、下記の点検を実施してください。

○本点検により不具合が無いことを確認し、添付の保証登録書に必要事項を記入し、登録を行ってください。

記入方法   
  異常なし   
  レ   
  交換   
  ×   
  調整   
  A   
  締付け   
  T

点検項目		
GT2 スーパーチャージャー本体の確認		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  <b>警告</b>            ・作動音確認の際はベルトに手や指、衣服等が巻きこまれないようにしてください。            ・ベルトに巻き込まれた場合重症を負う可能性があります。         </div>		
1	取付け時と比較して GT2 スーパーチャージャー駆動機構の作動音が大きくなっていたり、異音が発生していないか	<input type="checkbox"/>
	取付け時と比較してエアクリーナーからの吸気音が大きくなっていたり、異音が発生していないか	<input type="checkbox"/>
	トラクションフルードが異常に減少していないか (フルードレベルゲージにフルード液面が触れない程度まで)	<input type="checkbox"/>
2	トラクションフルード配管の点検 トラクションフルード配管からの漏れ、ホースクランプの緩みがないか	<input type="checkbox"/>
	確認箇所 ・スーパーチャージャーとの接続部	<input type="checkbox"/>
	・フルードクーラーとの接続部	<input type="checkbox"/>
	・フルードタンクとの接続部	<input type="checkbox"/>
	・フルードフィルターとの接続部	<input type="checkbox"/>
	トラクションフルードホースに他部品との接触による損傷がないか	<input type="checkbox"/>
	トラクションフルードホースにひび、割れなどが生じていないか	<input type="checkbox"/>
3	Vリブドベルトの点検 Vリブドベルトがオートテンショナーの調整範囲内になっているか	<input type="checkbox"/>
	Vリブドベルトにひび、割れ、欠けなどの損傷がないか	<input type="checkbox"/>
4	ボルトの締付け GT2 スーパーチャージャーの取付けボルトが締まっているか	<input type="checkbox"/>
5	取付けた部品が各部に干渉していないか	<input type="checkbox"/>
	確認箇所 ・Vリブドベルトと各部	<input type="checkbox"/>
	・パイピングと各部	<input type="checkbox"/>
	・ブローオフバルブホースと各部	<input type="checkbox"/>
	ホースバンドが確実に締まっているか	<input type="checkbox"/>
	エンジンオイルがレベルゲージのH~Lの間にあるか	<input type="checkbox"/>

## 12. 維持・管理

○トラクションフルードは HKS GT2 スーパーチャージャー専用用品です。弊社指定のトラクションフルード以外は絶対に使用しないでください。弊社指定以外のトラクションフルードや、エンジンオイル、ミッションオイル等を使用した場合、HKS GT2 スーパーチャージャーの内部部品が破損します。

### 注意

- トラクションフルードは交換不要ですが、運行前には油量の確認を行い、減少している場合にはトラクションフルードを補充してください。

○補充用のトラクションフルードは下記品番にて注文してください。

商品名	品番
GT S/C TRACTION FLUID I	12002-AK029

※-20℃以下の寒冷地で使用する場合は、下記品番のトラクションフルードをご使用ください。(別売)

商品名	品番
GT S/C TRACTION FLUID II	12002-AK030

○HKS GT2 スーパーチャージャー取付け後、5年経過または走行距離が70,000kmを超えた場合はトラクションフルードのフィルターを交換してください。

トラクションフルードのフィルターは下記品番にて注文してください。

商品名	品番
トラクションフルードフィルター	12002-AK015

○Vリブドベルトは消耗部品です。運行前点検時にひび、割れ、欠けなどの損傷がないか確認してください。

損傷がある場合には交換してください。弊社指定のベルト以外は使用しないでください。弊社指定以外のベルトを使用した場合、始動時やアイドル時にベルトの鳴きが発生する恐れがあります。

交換用のベルトは下記品番にて注文してください。

商品名	品番
Vリブドベルト 6PK2070	G13572-T59020-00

※NA車とはベルト長さが異なります。

○ブローオフバルブのベロフラムは6ヶ月ごとに点検してください。ベロフラムに亀裂や切れがあった場合は交換してください。

交換用のベロフラムは下記品番にて注文してください。

商品名	品番
ブローオフバルブベロフラム	12002-AK040

## 13. 故障と判断する前に

○本製品が正常に作動しない場合には、故障と判断する前に、下記の症状と照らし合わせて、配管・配線・ベルト等の確認をしてください。

症状	原因	確認事項・対策
・エンジン始動時にベルトが鳴く	—	・始動時“キュツ”と 1, 2 回鳴くことがありますが、異常ではありません。
・エンジン始動時にベルト鳴きが数秒間続く ・エンジン出力が低下したように感じる ・全開加速時、エンジン回転が上昇しても、ある回転数から過給圧が低下する	ベルトの張力低下	・オートテンショナーの調整代を使い切っていないか確認。使い切っている場合は新品に交換 ・走行距離が 50,000km を超えている場合にはオートテンショナーを新品に交換
・エンジン出力が低下したように感じる ・全開加速時、エンジン回転が上昇しても、ある回転数から過給圧が低下する	エアクリーナーの寿命	・汚れが目立つ場合には交換時期に達していても交換 ・走行距離が 10,000km を超えている場合は交換（使用状況により 10,000km 以下でも交換）
・空吹きでエンジンを高回転で回すと、ベルトが鳴く。	※本症状のみでは異常と判断できません。	・走行時にある回転数から過給圧が低下するような症状が出ていなければ、異常ではありません。 ・空吹き時はエンジンの回転上昇が速いため、ベルトが滑りやすい状況です。 特に冷間時はベルト張力が低く、さらにベルトが滑りやすい状況にあります。
・運転中、ぎくしゃくする。ドライバビリティ不良。	配管途中でのエア吸い	・配管途中からエアを吸っていないか点検。 ・ブローオフバルブのペロフラムを点検

## 14. ベルトが切れてしまった場合

- ・車両を安全な場所へ移動し、切れたベルトによる他部品の損傷（オイル、冷却水配管、ハーネス等の破損）がないか確認してください。
- ・ベルトでオルターネーター・ウォーターポンプを駆動しているため、ベルトが切れた場合は走行しないでください。
- ・ベルトが切れた原因を確認し、問題がなければ新品のベルトに交換してください。問題が発見された場合には適切な修理を行ってください。







株式会社 エッチ・ケー・エス  
〒418-0192 静岡県富士宮市北山7181  
<https://www.hks-power.co.jp/>